

社会医療法人 蘇西厚生会

理 念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基 本 方 針

私たちは、医療における安全を重視し、患者さん中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者さんや利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

行 動 指 針

「和の精神」

信頼と協力は明るい職場をつくる
あい携えて 共に心からの和を誓おう

「信用の向上」

医療機関の生命は信用である
真心で人に接し 熱意をもって仕事に当たり
信用の向上に努めよう

「たくましい実行力」

明日を創造するのは 実行力である
信念と勇気をもって仕事を推し進めよう

1. 沿革

明治 35 年	松波病院開設
明治 44 年	加納町病院として再開設
昭和 8 年	松波外科医院開設
昭和 22 年	松波病院 (20 床) 開設 [医院廃止]
昭和 32 年	医療法人蘇西厚生会設立
昭和 52 年	CT 装置導入 (国内 3 番目)
昭和 54 年	松波病院病床数増床 (250 床)
昭和 57 年 4 月 1 日	託児所エンゼル開設
昭和 63 年 2 月 1 日	松波総合病院 (437 床) 新築移転・開設
	コンピューターによるオーダーリングシステム開始
	MRI (1.5 テスラ) 導入 (東海地区初)
	松波病院 (250 床) 廃止
	松波総合病院老人保健施設 (146 床) 開設
	松波総合病院附属診療所 (19 床) 開設
平成 4 年 1 月 1 日	笠松町在宅介護支援センターまつなみ受託
平成 6 年 4 月 1 日	臨床研修病院指定
平成 7 年	体外受精成功 (県内初)
平成 7 年 12 月 1 日	日本内科学会認定医制度教育病院指定
平成 8 年 12 月 19 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価試行受審
平成 9 年 11 月 28 日	生体部分肝移植手術成功 (国内の民間病院初)
平成 10 年 4 月 1 日	心臓血管外科開設
平成 10 年 9 月 1 日	まつなみ訪問看護ステーション開設
	生体部分肝移植手術 (施設基準) 取得
平成 10 年 11 月 1 日	開放型病院 (施設基準) 取得
平成 11 年 6 月 1 日	神経内科開設
平成 11 年 7 月 1 日	ペインクリニック外来開設
平成 12 年 1 月 1 日	松波総合病院患者家族宿泊施設新設 (定員 4 部屋 8 名)
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まつなみ開設
平成 12 年 10 月 1 日	形成外科開設
平成 12 年 12 月 31 日	夜間一般外来廃止
平成 14 年 2 月 1 日	院外処方箋発行開始
平成 14 年 6 月 6 日	一般病床 (436 床) として届出
平成 14 年 6 月 30 日	精神科廃止
平成 14 年 7 月 31 日	松波総合病院附属診療所廃止
	松波総合病院附属診療所通所リハビリテーション廃止
平成 14 年 8 月 1 日	まつなみ健康増進クリニック (診療センター、人間ドック・健診センター、人工透析センター) 開設
平成 14 年 10 月 1 日	16 列型マルチスライス CT 装置導入 (国内 2 番目)
平成 14 年 11 月 1 日	松波総合病院居宅介護支援事業所開設
平成 15 年 1 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟 (3 階病棟、55 床) 開設
平成 15 年 7 月 15 日	禁煙宣言病院 (敷地内・建物内完全禁煙 含クリニック)、禁煙外来開設

平成 16 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver4 認定
平成 16 年 4 月 1 日	脳下垂体外科専門外来開設 新医師臨床研修病院指定
平成 16 年 6 月 2 日	女性外来開設
平成 16 年 10 月 1 日	呼吸器内科開設
平成 16 年 11 月 1 日	不妊・遺伝相談外来開設
平成 17 年 1 月 17 日	まつなみ在宅総合ケアセンター開設 まつなみ訪問介護ステーション開設
平成 17 年 2 月 1 日	救急救命集中治療センター開設
平成 17 年 10 月 29 日	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成 18 年 4 月 1 日	DPC(診断群分類別定額支払い方式) 対象病院認可
平成 19 年 3 月 22 日	特定医療法人承認
平成 19 年 6 月 1 日	託児所エンゼル新築移転
平成 19 年 9 月 22 日	肩・スポーツ外来開設
平成 19 年 12 月 1 日	集中治療室 (ICU) 開設 病床数減 (434 床)
平成 20 年 2 月 1 日	重症心疾患患者集中治療室 (CCU) 開設 病床数減 (432 床)
平成 20 年 3 月 31 日	口腔外科廃止
平成 20 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構認定病院認定
平成 20 年 10 月 1 日	社会医療法人認定 法人管理センター新築移転
平成 21 年 1 月 1 日	放射線治療装置導入 (放射線治療再開)
平成 21 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver5 認定
平成 22 年 2 月 1 日	ストーマ外来・女性肛門外来開設
平成 22 年 3 月 1 日	320 列マルチスライス CT 装置導入 (県内 2 番目)
平成 22 年 12 月 4 日	外国人看護師候補者 2 名受入 (インドネシア: 女性 2 名)
平成 22 年 12 月 12 日	内視鏡手術支援ロボット『ダヴィンチ導入』 (国内 3 番目)
平成 23 年 2 月 25 日	ドトールコーヒーショップ松波総合病院店 開店
平成 23 年 3 月 30 日	国土交通省 短期入院協力病院 指定
平成 23 年 4 月 20 日	次世代育成対策支援法第 13 条に基づき基準適合一般事業主 認定
平成 23 年 6 月 1 日	松波総合病院クリニカルインディケーター (医療の質の指標) 公開
平成 23 年 8 月 22 日	岐阜 DMAT 指定病院 指定
平成 23 年 10 月 26 日	災害拠点病院 (地域災害医療センター) 指定
平成 24 年 1 月 6 日	外国人看護師候補者 2 名受入 (インドネシア: 男性 1 名、女性 1 名)
平成 24 年 4 月 26 日	松波総合病院クリニカルインディケーター (医療の質の指標) 更新
平成 24 年 6 月 1 日	地域医療介護連携センター 設置
平成 24 年 7 月 24 日	体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」導入
平成 24 年 8 月 31 日	地域医療支援病院に承認
平成 25 年 2 月 2 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」導入 (国内 2 番目、国内 2 例目、 岐阜県下 1 例目) ※「ダヴィンチ S」からのバージョンアップ
平成 25 年 7 月 4 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した肝臓切除術 県内初成功
平成 25 年 7 月 31 日	松波総合病院クリニカルインディケーター (医療の質の指標) 更新
平成 25 年 9 月 1 日	まつなみリサーチパーク 設立
平成 25 年 10 月 17 日・18 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.1.0) 受審
平成 25 年 11 月 1 日	松波総合病院障害者短期入所事業所 開設

平成 26 年 1 月 1 日	電子カルテシステムの導入
平成 26 年 1 月 6 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.1.0) 「一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)」「リハビリテーション病院 (副機能)」認定
平成 26 年 1 月 30 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した子宮全摘出手術 院内第 1 例目実施
平成 26 年 2 月 19 日	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価 受審
平成 26 年 3 月 25 日	外国人看護師候補者 1 名 看護師国家試験合格 (インドネシア: 女性 1 名)
平成 26 年 7 月 22 日	松波総合病院北館(NORTH WING) 新築開設(許可病床数 445 床・稼働病床数 432 床) 北館内にハイブリッド手術室を完備 MRI(3.0 テスラ) 導入 (サイレントスキャン 県内 1 番目) ドクターヘリでの救急搬送第 1 号
平成 26 年 7 月 29 日	HCU 開設 (20 床)
平成 26 年 9 月 1 日	地域包括ケア病棟開設 (55 床)
平成 26 年 12 月 18 日	学校法人朝日大学との教育、研究、医療活動に関する包括的連携協定の締結
平成 27 年 4 月 1 日	松波総合病院南館 (SOUTH WING) 改修に伴い、病床数増床 (501 床)
平成 27 年 4 月 28 日	学校法人聖徳学園との包括的な連携協定を締結
平成 27 年 5 月 1 日	障害者病棟を開設 (59 床)
平成 27 年 6 月 16 日	仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として 2015 年度岐阜県で 第 1 号くるみんマーク取得 (4 度目の認定)
平成 27 年 7 月 1 日	岐阜県子育て支援企業に登録
平成 27 年 8 月 1 日	ブライダルチェック外来 開設
平成 27 年 8 月 21 日	まつなみりサーチパーク「在宅医療支援システム」特許取得
平成 27 年 9 月 7 日	まつなみりサーチパーク 科学研究費助成金取扱規程第 2 条第 8 項に規程する 研究機関に指定 (県内初)
平成 27 年 10 月 30 日	まつなみりサーチパーク「採血・検査一体型デバイス」特許取得
平成 27 年 11 月 11 日・12 日・13 日	第 26 回 VHJ (Voluntary Hospitals of Japan) 研究会職員交流会主催
平成 27 年 12 月 22 日	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学との連携包括協定の締結
平成 28 年 1 月 19 日	ヒト型ロボット「Pepper(ペッパー)」を導入
平成 28 年 3 月 18 日	まつなみりサーチパーク「消化管デバイス」特許取得
平成 28 年 4 月 12 日	『夜尿症外来』をまつなみ健康増進クリニックに開設
平成 28 年 5 月 15 日	熊本地震の被災地医療支援のために災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣
平成 28 年 7 月	『非接触・無拘束ベッド見守りシステム』を介護老人保健施設に導入
平成 28 年 9 月 6 日	DMAT 本部機能認定
平成 29 年 2 月 23 日	岐阜県子育て支援エクセレント企業に認定
平成 29 年 3 月 29 日	育児ほほえみ相談事業委託契約締結
平成 29 年 4 月 1 日	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターの社会連携講座「肥満メタボリック ケア」において、東京大学、社会医療法人河北医療財団、ライザップ株式会社 との共同研究 (肥満やサルコペニアに関して) を開始
平成 29 年 4 月 3 日	英語版・中国語版ホームページを開設
平成 29 年 10 月 1 日	救急科 (救急総合診療科) を新設
平成 29 年 10 月 3 日	羽島郡広域連合消防本部と共同で病院派遣型の救急ワークステーションの運用を開始
平成 29 年 11 月 1 日	発達障害外来を開設
平成 29 年 11 月 19 日	『輸血機能評価認定施設 (I&A 制度認定施設)』岐阜県内民間病院第一号認定
平成 30 年 3 月 13 日	JMIP (外国人患者受入れ医療機関認定制度) に認定 (県内 2 番目)
平成 30 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) よりエクセレント賞を受賞

平成 30 年 9 月 1 日	無菌治療室 (クリーンルーム) を設置
平成 31 年 1 月 30 日	『岐阜医療圏地域コンソーシアム』 協定締結
平成 31 年 2 月 21 日	『健康経営優良法人ホワイト 500』 に認定
平成 31 年 3 月 1 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0) 一般病院 2(200 床以上 500 床未満)(主たる機能) 「リハビリテーション病院 (副機能) 」 認定
平成 31 年 4 月 27 日	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会 最優秀ベストプラクティス賞 受賞
令和 元年 8 月 5 日	レストラン 『然の膳 松波総合病院店』 開店
令和 元年 9 月 9 日	松波総合病院 立体駐車場 完成
令和 元年 9 月 16 日	台風 15 号の被災地支援に全日本病院医療支援班 (AMAT) を千葉県に派遣
令和 元年 10 月 1 日	松波総合病院 ノースウィング増築 完成 リンパ浮腫外来 嚥下外来 開設
令和 2 年 1 月 11 日	まつなみ医療職体験会 2020 を開催
令和 2 年 2 月 26 日	『特定行為研修指定研修機関』 に指定
令和 2 年 3 月 2 日	『健康経営優良法人』 に認定
令和 2 年 3 月 26 日	自院救急車を新規購入
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院 柔道部創部
令和 2 年 6 月 5 日	オンライン面会、面談システムの運用開始
令和 2 年 7 月 1 日	令和 2 年度献血推進功労者表彰
令和 2 年 11 月 11 日	Claris Japan Excellence Award 2020 受賞
令和 2 年 11 月 25 日	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 < ぎふ・いきいき介護事業者 > G1(グレード 1) 認定
令和 2 年 12 月 1 日	発熱外来ユニット「Gifu CUBE」運用開始
令和 3 年 3 月 22 日	電子カルテシステム 更新
令和 3 年 4 月 1 日	こころの発達診療センター開設 へき地医療拠点病院の指定
令和 3 年 6 月 16 日	『災害時等における一時的な避難場所としての施設提供及び使用に関する 協定』 を締結
令和 3 年 7 月 1 日	介護・在宅本部設置
令和 3 年 11 月 12 日	Claris Japan Excellence Award 2021 受賞
令和 3 年 12 月 20 日	熱分解装置『NEO SONIC 2000M』を導入
令和 4 年 1 月 19 日	高周波式ハイパーサーミアシステム『アスクーフ 8』の導入

2. 現 況

I 設備・機器概要

1. 診療主要装備

- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、1.5 テスラ)
- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、3.0 テスラ)
- ・ 16 列型マルチスライス CT 装置 Light Speed
- ・ 64 列型マルチスライス CT 装置
- ・ 320 列型マルチスライス CT 装置 Aquilion ONE
- ・ 心臓カテーテルエックス線撮影装置 (シネ・アンギオ) 2 基
- ・ 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチ X
- ・ 体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」
- ・ 多軌道断層エックス線撮影装置
- ・ 泌尿器専用エックス線撮影装置
- ・ 骨密度エックス線測定装置
- ・ 乳房専用エックス線撮影装置
- ・ 歯科用パノラマエックス線撮影装置
- ・ ガンマカメラ・試料測定装置 (RI 検査室)
- ・ 血管造影撮影装置
- ・ 人工透析装置
- ・ 直線加速装置 (リニアック)
- ・ エックス線 TV 装置
- ・ 高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」

2. 診療支援装備

- (1) コンピューターによるオーダリングシステム
CPU:IBM RS-6000(2 基)、AS-400(1 基)
PC300PL 105 台、PC300GL 40 台、PC340 15 台 - 自動錠剤分包機にも連動
- (2) コージェネレーションシステム (都市ガス)
需要商用電源の一部補完、低コスト 24 時間空調、給湯
- (3) 三系統電源による無瞬断システム
手術等の場合の電源の緊急対応のセキュリティの確保

II 規模の概況

1. 総合病院

許可病床	501 床 (稼動病床 501 床)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階
(南館) 建築延面積	約 20,000 平方メートル
敷地面積	約 10,000 平方メートル
構造規模	鉄骨造 (S 造) 地上 7 階 ヘリポート
(北館) 建築延面積	約 18,750 平方メートル
敷地面積	約 11,300 平方メートル

2. 関連事業所他

(1) 介護老人保健施設

- ・ 入所定員 146 床 (内、ショートステイ 10 床)
- ・ 通所定員 40 人 (通所リハビリテーション)
- ・ 南館 2 ～ 4 階

(2) まつなみ健康増進クリニック

- ・ 1 階 ～ 2 階 診療センター
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、小児科、外科、
呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肛門科、皮膚科、形成外科、乳腺外科、
リウマチ科、メンタルケア科 (精神科)
- ・ 3 階 人間ドック・健診センター
- ・ 構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート地上 3 階

(3) 人工透析センター (61 台)

- ・ 南館 1 階

(4) 松波総合病院介護老人保健施設 通所リハビリテーション

- ・ 南館 1 階

(5) まつなみケアプランセンター

(6) まつなみ訪問看護ステーション

(7) まつなみ訪問介護ステーション

(8) まつなみリサーチパーク

(9) その他の施設

- ・ 研修医宿舎 ルドン笠松 (11 室)
- ・ 看護師宿舎 ホワイトエンゼル 笠松 M ワンルームマンション 合計 2 棟 (88 室)
- ・ 託児所 エンゼル
- ・ その他 患者家族宿泊施設 4 室
熱分解装置「NEO SONIC 2000M」
- ・ 駐車場 外来患者様用 約 400 台収容
透析患者様専用 5 台
人間ドック専用 20 台

(10) サービス施設 (出店業者)

- ・ ドトールコーヒーストップ (2021 年 4 月 16 日閉店) 安田商事 (株)
- ・ セブンイレブン
- ・ レストラン 然の膳 (株) フードテックジャパン

【松波総合病院】

施設基準等と診療報酬（基本診療料）

2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2021/02/01	(オン診) 第 145 号	オンライン診療料
2020/09/01	(一般入院) 第 79 号	急性期一般入院料 1 7 対 1 (7 病棟 294 床)
2018/04/01	(障害入院) 第 7 号	障害者施設等入院基本料 (1 病棟 59 床) ※注 9 に規定する 看護補助体制加算 30 対 1 (障害者病棟) 夜間看護補助体制加算 75 対 1 (障害者病棟)
2020/09/01	(総合 3) 第 6 号	総合入院体制加算 3
2020/04/01	(救急医療) 第 10 号	救急医療管理加算
2008/04/01	(超急性期) 第 7 号	超急性期脳卒中加算
2014/04/01	(診療録 1) 第 11 号	診療録管理体制加算 1
2022/07/01	(事補 2) 第 2 号	医師事務作業補助体制加算 2 20 対 1
2021/09/01	(急性看補) 第 3 号	急性期看護補助体制加算 (25 対 1 50%以上) ※夜間急性期看護補助体制加算 (100 対 1) ※夜間看護体制加算
2015/05/01	(特施) 第 10 号	特殊疾患入院施設管理加算
2006/10/01	(療) 第 21 号	療養環境加算
2006/12/01	(重) 第 47 号	重症者等療養環境特別加算
2018/09/01	(無菌 1) 第 9 号	無菌治療室管理加算 1
2021/05/01	(無菌 2) 第 6 号	無菌治療室管理加算 2
2019/05/01	(緩和) 第 15 号	緩和ケア診療加算
2022/04/01	(栄養チ) 第 4 号	栄養サポートチーム加算
2018/04/01	(医療安全 1) 第 2 号	医療安全対策加算 1 ※医療安全対策地域連携加算 1
2018/04/01	(感染防止 1) 第 5 号	感染防止対策加算 1 ※抗菌薬適正使用支援加算 ※感染防止対策地域連携加算
2012/04/01	(患サポ) 第 32 号	患者サポート体制充実加算
2009/09/01	(褥瘡ケア) 第 10 号	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
2008/04/01	(ハイ妊娠) 第 17 号	ハイリスク妊娠管理加算
2009/04/01	(ハイ分娩) 第 2 号	ハイリスク分娩管理加算
2010/04/01	(呼吸チ) 第 2 号	呼吸ケアチーム加算
2021/12/01	(後発使 2) 第 31 号	後発医薬品使用体制加算 2
2015/09/01	(病棟薬 1) 第 22 号	病棟薬剤業務実施加算 1
2016/04/01	(病棟薬 2) 第 2 号	病棟薬剤業務実施加算 2
2014/04/01	(データ提) 第 12 号	データ提出加算
2020/04/01	(入退支) 第 12 号	入退院支援加算 1 ※入院時支援加算 ※地域連携診療計画加算 ※総合機能評価加算
2017/06/01	(認知ケア 1) 第 30 号	認知症ケア加算 1
2020/05/01	(せん妄ケア) 第 26 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算
2016/04/01	(精疾診) 第 4 号	精神疾患診療体制加算
2018/08/01	(排尿自支) 第 5 号	排尿自立支援加算
2020/04/01	(地医確保) 第 2 号	地域医療体制確保加算

2020/04/01	(集1)第3号	特定集中治療室管理料1(8床) ※早期離床・リハビリテーション加算 ※早期栄養介入管理加算
2020/11/01	(ハイケア1)第7号	ハイケアユニット入院医療管理料1(20床)
2007/05/01	(小入5)第10号	小児入院医療管理料5
2020/04/01	(回1)第2号	回復期リハビリテーション病棟入院料1(1病棟60床) ※体制強化加算1
2020/10/01	(地包ケア2)第9号	地域包括ケア病棟入院料2(60床) ※看護職員配置加算(50対1) ※看護補助者配置加算(25対1)

施設基準等と診療報酬(特掲診療科)

2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2020/04/01	(外栄養指)第7号	外来栄養食事指導料の注2加算
2015/02/01	(糖管)第43号	糖尿病合併症管理料
2010/04/01	(がん疼)第33号	がん性疼痛緩和指導管理料
2010/04/01	(がん指イ)第2号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ)第7号	がん患者指導管理料ロ
2018/08/01	(がん指ハ)第21号	がん患者指導管理料ハ
2016/04/01	(糖防管)第28号	糖尿病透析予防指導管理料
2021/09/01	(小運指管)第39号	小児運動器疾患指導管理料
2018/04/01	(乳腺ケア)第3号	乳腺炎重症化予防・ケア指導料
2020/09/01	(婦特管)第23号	婦人科特定疾患治療管理料
2012/04/01	(トリ)第12号	院内トリアージ実施料
2020/04/01	(救搬看体)第2号	救急搬送看護体制加算1
2012/04/01	(放射診)第5号	外来放射線照射診療料
1998/11/01	(開)第7号	開放型病院共同指導料
2010/04/01	(ハイI)第12号	ハイリスク妊産婦共同管理料(I)
2013/04/01	(がん指)第464号	がん治療連携指導料
2020/04/01	(外排自)第5号	外来排尿自立指導料
2010/04/01	(肝炎)第13号	肝炎インターフェロン治療計画料
2010/05/01	(薬)第4号	薬剤管理指導料
2016/07/01	(電情)第26号	検査・画像情報提供加算及び電子的診療
2008/04/01	(機安1)第33号	医療機器安全管理料1
2012/05/01	(在看)第5号	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
2015/09/01	(在後病)第9号	在宅療養後方支援病院
2016/08/01	(持血測1)第16号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/06/01	(持血測2)第6号	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
2016/04/01	(遺伝検)第3号	遺伝学的検査
2010/04/01	(HPV)第36号	HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
2019/01/01	(検Ⅳ)第22号	検体検査管理加算(Ⅳ)
2010/04/01	(血内)第13号	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
2012/04/01	(歩行)第5号	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
2012/04/01	(ヘッド)第1号	ヘッドアップティルト試験

2010/04/01	(長)第8号	長期継続頭蓋内脳波検査
2008/04/01	(神経)第17号	神経学的検査
2016/05/01	(コン1)第222号	コンタクトレンズ検査料1
2006/04/01	(小検)第2号	小児食物アレルギー負荷検査
2020/04/01	(経気凍)第1号	経気管支凍結生検法
2008/04/01	(画2)第8号	画像診断管理加算2
2008/06/01	(ポ断)第14号	ポジトロン断層撮影
2012/04/01	(C・M)第226号	CT撮影及びMRI撮影(16列CT)
2012/04/01	(C・M)第227号	CT撮影及びMRI撮影(320列CT)
2012/04/01	(C・M)第228号	CT撮影及びMRI撮影(1.5テスラMRI)
2014/07/01	(C・M)第433号	CT撮影及びMRI撮影(64列CT)
2017/04/01	(C・M)第471号	CT撮影及びMRI撮影(3テスラMRI)
2020/12/01	(C・M)第563号	CT撮影及びMRI撮影(64列CT)
2010/03/01	(冠動C)第13号	冠動脈CT撮影加算
2014/07/01	(心臓M)第17号	心臓MRI撮影加算
2021/07/01	(頭部M)第3号	頭部MRI撮影加算
2020/05/01	(全身M)第2号	全身MRI撮影加算
2010/04/01	(抗悪処方)第6号	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
2008/04/01	(外化1)第34号	外来化学療法加算1
2020/04/01	(外化連)第2号	連携充実加算
2008/04/01	(菌)第58号	無菌製剤処理料
2019/08/01	(心I)第33号	心大血管疾患リハビリテーション料(1) ※初期加算
2012/04/01	(脳I)第12号	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)及び廃用症候群リハビリテーション料(1) ※初期加算
2012/04/01	(運I)第12号	運動器リハビリテーション料(1) ※初期加算
2012/04/01	(呼I)第23号	呼吸器リハビリテーション料(1) ※初期加算
2010/09/01	(がんリハ)第1号	がん患者リハビリテーション料
2018/04/01	(集コ)第24号	集団コミュニケーション療法料
2020/04/01	(静圧)第1号	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
2010/04/01	(エタ甲)第8号	エタノールの局所注入(甲状腺)
2010/04/01	(エタ副甲)第5号	エタノールの局所注入(副甲状腺)
2018/04/01	(人工腎臓)第15号	人工腎臓
2018/04/01	(導入1)第11号	導入期加算1
2014/03/01	(透析水)第38号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
2016/04/01	(肢梢)第13号	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
2017/07/01	(組再乳)第2号	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
2018/04/01	(後縦骨)第1号	後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
2020/04/01	(椎酵注)第1号	椎間板内酵素注入療法
2002/09/01	(脳刺)第7号	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
2002/09/01	(脊刺)第5号	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
2018/11/01	(内下)第4号	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術

2010/04/01	(乳セ1)第2号	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
2010/04/01	(乳セ2)第3号	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
2016/10/01	(乳腫)第4号	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
2017/07/01	(ゲル乳再)第2号	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
2016/04/01	(肺腫)第1号	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
2018/04/01	(穿瘻閉)第1号	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
2020/04/01	(経特)第14号	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
2021/03/01	(胸腔弁形)第5号	胸腔鏡下弁形成術
2021/03/01	(胸腔下置)第5号	胸腔鏡下弁置換術
2010/04/01	(経中)第7号	経皮的中隔心筋焼灼術
1998/04/01	(ペ)第13号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
2018/08/01	(ペリ)第9号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
2014/05/01	(両ぺ静)第10号	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
2014/05/01	(除静)第12号	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
2014/05/01	(両除静)第10号	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
1998/04/01	(大)第9号	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
2020/04/01	(経下肢動)第1号	経皮的下肢動脈形成術
2021/02/01	(腹胃切支)第5号	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹側胃切支)第4号	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹胃全)第4号	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2019/02/01	(バ経静脈)第5号	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
2011/07/01	(腹肝)第4号	腹腔鏡下肝切除術
1998/09/01	(生)第1号	生体部分肝移植術
2012/04/01	(腹臍切)第2号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
2015/01/01	(早大腸)第13号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
2004/03/01	(腎)第18号	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
2016/04/01	(腹腎支器)第2号	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2020/07/01	(膀胱)第8号	膀胱水圧拡張術
2013/09/01	(腹前支器)第3号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2016/10/01	(輸血I)第15号	輸血管理料1
2016/10/01	(輸適)第31号	輸血適正使用加算
2018/04/01	(貯輸)第4号	貯血式自己血輸血管理体制加算
2012/06/01	(造設前)第21号	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
1996/07/01	(麻管1)第14号	麻酔管理料(1)
2010/08/01	(麻管2)第5号	麻酔管理料(2)
2016/04/01	(高放)第24号	高エネルギー放射線治療

2020/03/01	(病理診 2) 第 8 号	病理診断管理加算 2
2018/04/01	(悪病組) 第 1 号	悪性腫瘍病理組織標本加算

施設基準等と診療報酬 (入院時食事療養) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
1931/02/01	(食) 第 178 号	入院時食事療法 (I)

施設基準等と診療報酬 (その他の届出) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2021/04/01	(酸単) 第 10948 号	酸素の単価

施設基準等と診療報酬 (歯科) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2019/06/01	(病初診) 第 31 号	地域歯科診療支援病院歯科初診料
2021/08/01	(外来環 2) 第 143 号	歯科外来診療環境体制加算 2
2018/04/01	(医管) 第 847 号	歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
2018/04/01	(歯リハ 2) 第 209 号	歯科口腔リハビリテーション料 2
2021/02/01	(歯 CAD) 第 910 号	CAD / CAM 冠
2018/04/01	(補管) 第 1583 号	クラウン・ブリッジ維持管理料

施設基準等と診療報酬 (その他の届出) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2021/04/01	(酸単) 第 10950 号	酸素の単価

【まつなみ健康増進クリニック】

施設基準等と診療報酬 (基本診療科) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
		該当なし

施設基準等と診療報酬 (特掲診療科) 2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2021/02/01	(オン診) 第 144 号	オンライン診療料
2020/04/01	(外栄食指) 第 6 号	外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
2008/06/01	(糖管) 第 12 号	糖尿病合併症管理料
2020/05/01	(遠隔ペ) 第 21 号	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
2013/08/01	(がん疼) 第 126 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2013/11/01	(がん指イ) 第 24 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 8 号	がん患者指導管理料ロ
2017/06/01	(がん指ハ) 第 19 号	がん患者指導管理料ハ
2012/04/01	(糖防管) 第 8 号	糖尿病透析予防指導管理料
2017/07/01	(ニコ) 第 13 号	ニコチン依存症管理料
2010/04/01	(肝炎) 第 11 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2016/07/01	(在看) 第 17 号	在宅患者訪問看護・指導料

2014/04/01	(持血測 1) 第 2 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
2012/12/01	(持血測 1) 第 6 号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/04/01	(持血測 2) 第 5 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合
2020/04/01	(先代異) 第 1 号	先天性代謝異常症検査
2008/04/01	(外化 1) 第 35 号	外来化学療法加算 1
2020/04/01	(外化連) 第 1 号	連携充実加算 クリニック

施設基準等と診療報酬（その他の届出）

2022.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2021/04/01	(酸単) 第 10920 号	酸素の単価

医学会関連研修・修練施設認定及び指定

学会認定施設

2022.3.31 現在

日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
日本病理学会研修認定施設 A
日本脳神経外科学会研修プログラム連携施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設 (関連施設 名古屋市立大学病院)
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本内科学会認定医制度教育病院
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本内分泌学会認定教育施設 (産婦人科)
日本消化器病学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 マンモグラフィ検診施設画像認定施設
日本呼吸器学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本インターベンショナルラジオロジー (IVR) 学会専門医修練認定施設
日本形成外科学会認定施設
日本アレルギー学会教育施設 (小児科)
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本透析医学会認定施設
日本臨床細胞学会施設認定
日本臨床腫瘍学会認定研修施設 (連携施設)
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
日本手外科学会研修施設
日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
オートプシー・イメージング学会 Ai 撮影参加施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本病院総合診療医学会認定施設

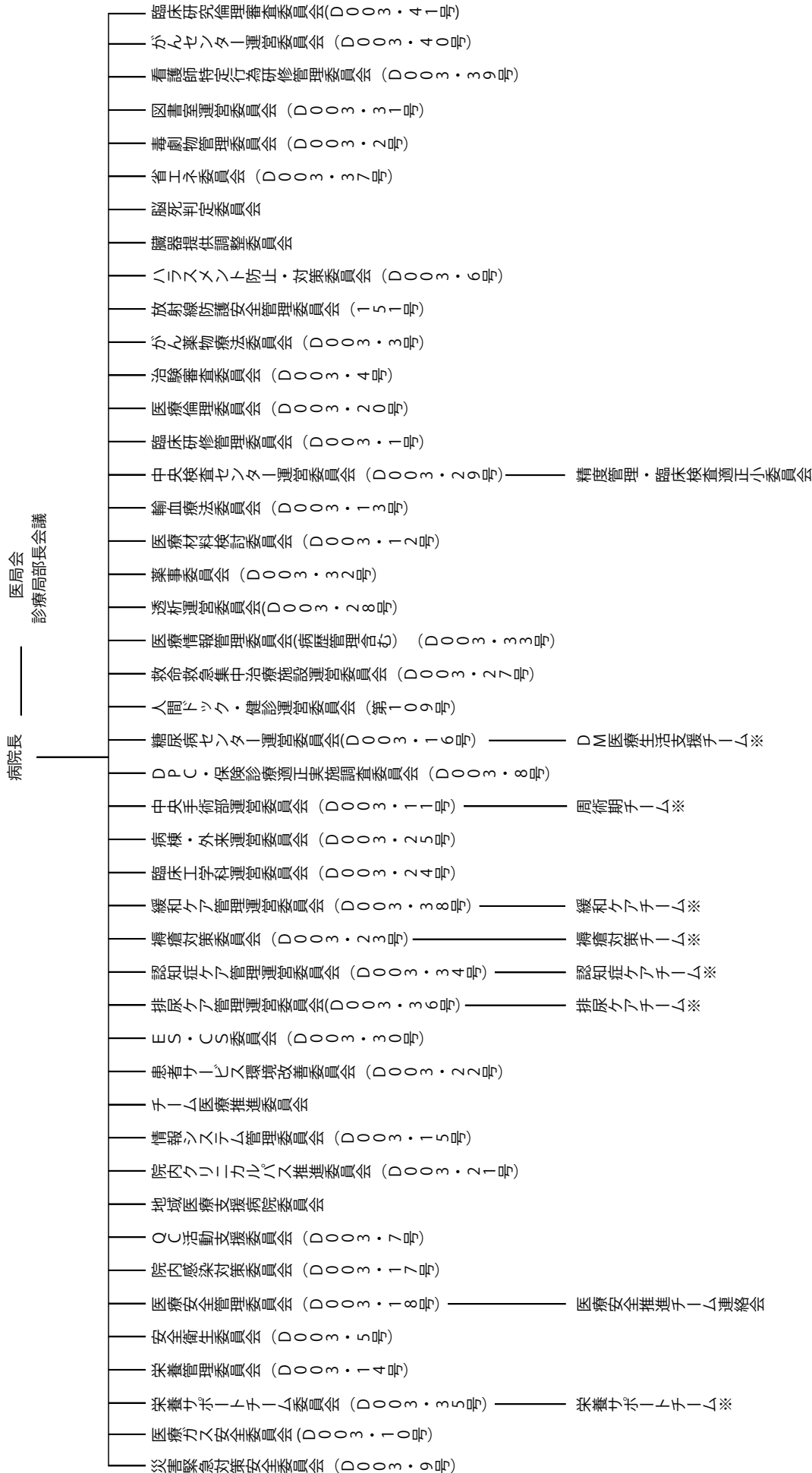
日本病態栄養学会専門医研修認定施設
 日本アレルギー学会教育施設 (内科)
 日本産科婦人科学会専門研修基幹施設
 日本内分泌外科学会専門医制度関連施設 (外科)
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
 日本救急医学会救急科専門医指定施設
 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大動脈ステントグラフト実施施設
 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設認定証
 日本感染症学会 研修施設認定証
 日本腎臓学会 研修施設認定証
 日本胆道学会認定指導医制度 指導施設認定
 日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関
 日本血液学会 専門研修認定施設
 日本肥満学会認定肥満症専門病院
 日本膀胱学会 認定指導施設
 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
 日本歯科麻酔学会研修機関
 日本脳卒中学会 一次脳卒中センター (PSC)

主要機関指定

2022.3.31 現在

保険医療機関
 臨床研修病院 (厚生労働省)
 へき地医療拠点病院
 新型インフルエンザ等対策特別措置法による指定地方公共機関 (社会医療法人蘇西厚生会として登録)
 岐阜 DMAT 指定病院
 災害拠点病院 (地域災害医療センター)
 地域医療支援病院
 岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関
 岐阜県高次脳機能障害支援事業協力医療機関
 救急告示病院
 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
 日本医療機能評価機構 (3rdG:Ver.2.0) 認定病院
 松波総合病院障害者短期入所事業所
 全国がん登録における指定診療所 (まつなみ健康増進クリニック)
 日本マタニティフィットネス協会登録施設

松波総合病院 委員会組織図



※印は、チーム医療推進委員会の構成員として機能する。

平成15年07月23日施行
令和3年09月01日更新

委員会構成総括表

2022年3月31日現在

委員会の名称	任 務	開催回数	◎委員長 ○副委員長 △事務責任者			
			職位	氏名	職位	氏名
QC 活動支援委員会 (D003-7 号)	医療の質業務改善等 全般	月 1 回	◎ 事務本部副本部長 ○ 看護部副看護部長	足立 明隆 佐藤 裕子	△ 医事課課長	村山 弘三
DPC・保険診療適正実 施調査委員会 ※ (D003-8 号)	保険請求業務の改善	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 病院事務部長	鶴 見 寿 小林 弘明	△ 医事課課長	村山 弘三
災害緊急対策安全委員会 ※※ (D003-9 号)	緊急災害対策施行	半期に 1 回	◎ 救急医療センター長 ○ 業務部部长	八十川 雄図 杉原 浩二	△ 経営企画部	福田 浩士
薬事委員会 ※※ (D003-32 号)	薬剤の調達管理	四半期に 1 回	◎ 副院長兼医療本部副本部長 ○ 薬剤部部长	村井 敏博 松本 利恵	△ 薬剤部副主任	浦崎 江美華
医療ガスの安全委員会 ※※ (D003-10 号)	医療ガスの安全管理	年 1 回	◎ 業務部部长 ○ 薬剤部部长	杉原 浩二 松本 利恵	△ 業務部	津田 基樹
中央手術部運営委員会 (D003-11 号)	手術室の運営	月 1 回 (第2月曜)	◎ 副院長・手術部部长 ○ 外科部部长	松波 紀行 木村 真樹	△ 手術室看護師長	大野 智子
医療材料検討委員会 (D003-12 号)	医療材料採用管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 業務部部长	森田 則彦 杉原 浩二	△ 業務部課長	古田 将人
輸血療法委員会 ※※ (D003-13 号)	輸血療法の安全管理	偶数月に 1 回	◎ 病院長代理 ○ 中央検査室課長	鶴 見 寿 森本 剛史	△ 検査室主任	角田 明美
栄養管理委員会 ※※ (D003-14 号)	栄養管理業務 食品衛生管理	四半期 1 回	◎ 副院長 ○ 栄養科主任	林 慎 堀 弘美	△ 栄養科副主任	山平 由佳
安全衛生委員会 ※※ (D003-5 号)	職員の健康安全管理	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護部主任	林 慎 照井 佳子	△ 人事部長	岩 村 志
情報システム管理委員会 (D003-15 号)	医療情報システムの 管理運営	半期 1 回	◎ 副院長 ○ 病院長 ○ システム開発・管理部部長	林 慎 松波 和寿 山北 慎吾	△ システム開発・管理部課長	可 兒 竜太
人間ドック・健診運営 委員会 (第 109 号)	人間ドック業務	年 1 回	◎ 人間ドック・健診センター長 ○ 人間ドック・健診センター部長	林 慎 佐伯 正人	△ 人間ドック・健診センター課長	伊藤 量彦
糖尿病センター運営委 員会 (D003-16)	生活習慣病の管理 チーム医療の確立 病診連携の推進	年 1 回	◎ 副院長 ○ 看護部部长 ○ 事務本部副本部長	林 慎 伊藤 妙登美 足立 明隆	△ 栄養科	五家 美幸
院内感染対策委員会 ※ (D003-17 号)	感染管理	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 感染管理認定看護師師長	鶴 見 寿 文字 雅義	△ 事務本部長	杉 下 実
医療安全管理委員会 ※ (D003-18 号)	医療事故防止対策	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護部部长	春日井 敏夫 伊藤 妙登美	△ 医療安全管理室	水野 裕也
地域医療支援病院委員会	地域医療支援病院の ための改善、提案	年 4 回	◎ ひらたクリニック 院長	平田 俊文	△ 地域医療介護連携室 部長	西川 哲史
医療倫理委員会 ※※ (D003-20 号)	医療に伴う倫理	四半期 1 回	◎ 医療管理監視役 ○ 内分泌臨床研究センター長	日置 敦巳 今井 篤志	△ 経営企画部主任	松岡 祐也

院内クリニカルパス推進委員会 (D003-21 号)	クリニカルパスの推進管理	9 回	◎ 副院長 ○ 副看護部長	草深 裕光 佐藤 裕子	△ 診療情報管理課 □ パス認定士 ・オブザーバー	武部 知美 今尾 裕子 残 馬 仁
患者サービス環境改善委員会 (D003-22 号)	施設及び設備の改善を含む患者サービス	必要に応じ	◎ 小児科部長 ○ 看護本部長	林 照 恵 伊藤 妙登美	△ 業務部	津田 基樹
ハラスメント防止・対策委員会 ※※ (D003-6 号)	ハラスメントの防止及び排除並びに発生時の対応	4ヶ月に1 回	◎ 医療管理監視役 ○ 事務本部長	日置 敦巳 杉 下 実	△ 人事部長	岩 村 志
褥瘡対策委員会 ※ (D003-23 号)	入院患者の褥瘡予防管理	月 1 回	◎ 形成外科部長 ○ 皮膚・排泄ケア認定看護師	北 澤 健 奥 田 容子		
臨床工学科運営委員会 (D003-24 号)	医療機器の保守・管理	3ヶ月1 回 (3・6・9・12)	◎ 副院長	森 田 則 彦	△ 臨床工学科部長	足 立 光 生
病棟・外来運営委員会 (D003-25 号)	病棟及び救急外来管理運営並びに外来業務の管理運営とその連携	月 1 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	森 田 則 彦 伊藤 妙登美	△ クオリティー管理部	水 野 裕 也
救命救急集中治療施設運営委員会 (D003-27 号)	救命救急集中治療施設の管理運営	月 1 回	◎ 救急医療センター長 ○ 循環器内科部長	八十川 雄図 小 島 好 修	○ 麻酔科副部長 △ 地域医療介護連携室 副主任	田 中 亜 季 長 谷 川 剛
透析運営委員会 ※ (D003-28 号)	透析センター及び血液浄化センターの運営管理	月 1 回	◎ 浄化・透析センター長	萩 原 徳 康	△ 臨床工学科主任	青 木 真 矢
臨床研修管理委員会 ※ (D003-1 号)	医師研修の運営	月 1 回	◎ 副院長	村 山 正 憲	△ 臨床研修医室主任	林 幸 太 郎
中央検査センター運営委員会 ※ (D003-29 号)	検査センター業務の運営管理	月 1 回	◎ 臨床検査部長兼中央検査センター長 ○ 中央検査室部長	河 合 壽 一 酒 井 昭 嘉	△ 中央検査室主任	橋 本 あゆみ
精度管理・臨床検査適正小委員会 ※	精度管理・臨床検査適正化及び運営管理	月 1 回	◎ 臨床検査部長兼中央検査センター長 ○ 中央検査室部長	河 合 壽 一 酒 井 昭 嘉	△ 中央検査室主任	橋 本 あゆみ
治験審査委員会 ※※ (D003-4 号)	治験審査の運営管理	月 1 回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎ 内分秘臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今 井 篤 志 松 本 利 恵		
臨床研究倫理審査委員会 ※※ (D003-41 号)	治験審査の運営管理	月 1 回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎ 内分秘臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今 井 篤 志 松 本 利 恵		
ES・CS委員会 (D003-30 号)	患者・職員満足度向上	1回/2ヶ月 (偶数月)	◎ 副院長 ○ クオリティー管理部部長	松 波 紀 行 足 立 成 道	△ クオリティー管理部部長	足 立 成 道
がん薬物療法委員会 ※ (003-3 号)	がん薬物療法に関する管理・運営	月 1 回	◎ 血液・腫瘍内科部長 ○ 薬剤部部長	原 武 志 松 本 利 恵	△ 薬剤部副主任	松 崎 南 美
放射線防護安全管理委員会 ※※ (151 号)	放射線防護安全管理に関する管理・運営	年 2 回	◎ 第2放射線科部長 ○ 中央放射線室部長	伊 原 昇 福 田 武	△ 中央放射線室副主任	小 田 雄 亮

臓器提供調整委員会 ※※	臓器提供の調整	随時	◎ 病院長 ○ 脳神経外科部長	松波 和寿 澤田 元史	△ クオリティー管理部部長	足立 成道
脳死判定委員会 ※※	脳死判定	随時	◎ 脳神経外科部長 ○ 介護老人保健施設長	澤田 元史 岩井 知彦	△ クオリティー管理部部長	足立 成道
チーム医療推進委員会	各チーム医療の推進 及び普及	月 1 回	◎ 副院長 ○ がん化学療法看護認定 看護師兼がん治療センター 副センター長	森田 則彦 野々垣 智子	△ 病院事務部部長	小林 弘明
医療情報管理委員会 ※(D003-33 号)	医療情報全般の管理 及びデータ管理	偶数月に 1回	◎ 副院長 ○ 副院長	林 慎 草深 裕光	△ 診療情報管理課課長	森 達也
省エネ委員会 (D003-37 号)	省エネの推進	1 回 / 2 ヶ月	◎ 事務本部長 ○ 業務部	杉下 実 津田 基樹	△ 業務部	山本 雄一
毒劇物管理委員会 (D003-2 号)	毒劇物管理および保 健衛生上の危害防止	年 2 回	◎ 病理診断科副部長 ○ 薬剤部部長	川島 啓佑 松本 利恵	△ 病理検査室検査技師	栗本 幸奈
図書室運営委員会 (D003-31 号)	図書の購入並びに管 理運営	年 1 回	◎ 副院長 ○ 総務部部長	林 慎 残馬 仁	△ 総務部総務課	田中 大地
認知症ケア管理運営委 員会 (D003-34 号)	入院患者の認知症予 防管理	4 月と 奇数月 年 7 回	◎ 精神科部長 ○ 看護部主任	小島 久典 川崎 葉子	△ 診療支援部主任	社本 六起
排尿ケア管理運営委員会 (D003-36 号)	入院患者の排尿自立 支援	月 1 回 第 3 木曜	◎ 泌尿器生殖科部長 ○ 看護部主任(皮膚・排泄 ケア認定看護師)	萩原 徳康 鵜飼 淳	△ 病院事務部医事課	木村 愛美
栄養サポートチーム委 員会 (D003-35 号)	栄養サポートの推進 及び普及	月 1 回	◎ 副院長 ○ 内科医員	林 慎 山本 奈央子	△ 栄養科副主任	山平 由佳
緩和ケア管理運営委員会 (D003-38 号)	入院患者の緩和ケア を実施し苦痛緩和に 取り組む	偶数月 年 6 回	◎ 副院長 ○ 副院長	春日井 敏夫 松波 紀行	△ 診療支援部主任	社本 六起
看護師特定行為研修管 理委員会 ※※ (D003-39 号)	特定行為研修の運営・ 管理	年 2 回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	林 慎 伊藤 妙登美	△ 総務部部長	残馬 仁
がんセンター運営委員会 (D003-40 号)	がんセンターに関する 管理・運営	月 1 回	◎ 病院長代理 ○ 看護本部長	鶴見 寿 伊藤 妙登美	△ 事務本部長	杉下 実

※ 診療報酬上必要な委員会

※※ 医療等必要な委員会

会議体構成総括表

会議の名称	任務	開催回数	◎議長 ○副議長 △事務責任者				その他 構成員
			職位	氏名	職位	氏名	
理事会	医療法人の管理運営に関すること 賞罰に関すること	月 / 第 4 月曜日 その他必要に応じ	◎ 理事長 ○ 病院長 ○ 事務本部長	松 波 英 寿 松 波 和 寿 杉 下 実	△ 事務本部副本部長	足 立 明 隆	【医師部門】 花立史香・平山宏史 【看護部門】 伊藤妙登美
法人経営会議	医療法人の管理	月 / 第 2 月曜日	◎ 理事長	松 波 英 寿	△ 事務本部副本部長	足 立 明 隆	【医師部門】 村井敏博・松波英一・松波紀行・林慎・森田則彦・村山正憲・春日井敏夫・鶴見寿・花立史香・田上真・草深裕光・平山宏史・荒木寛司・杉原潤一・田中薫
医局会議	運営に関すること	その他必要に応じ	○ 病院長	松 波 和 寿	△ 経営企画部部长	山 田 源 久	【看護部門】 伊藤妙登美
	賞罰に関すること		○ 事務本部長	杉 下 実			【事務・コメディカル・関連施設関係】(薬剤部) 松本利恵・(看護部) 伊藤妙登美・(総務部) 残馬仁・(経理部) 内堀松雄・(まつなみりサーチパーク) 合澤一利・(人間ドック・健診センター) 佐伯正人
	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長	松 波 和 寿	△ 診療局長	林 慎	
診療局部長会議	病院の運営に関すること	月 1 回	◎ 病院長 ○ 診療局長	松 波 和 寿 林 慎	△ 病院事務部部长 △ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長 △ 病院事務部医事課長	小 林 弘 明 栗 野 謙 一 細 野 雄 也 村 山 弘 三	【医師部門】 各診療科部長・副部长
事務管理者会議	病院の運営に関すること	月 2 回	◎ 事務本部長	杉 下 実	△ 人事部長	岩 村 志	【事務・コメディカル・関連施設関係】 管理本部長が指名した事務・コメディカル
看護師長会議	病院及び看護部の運営に関すること	月 2 回	◎ 看護本部長 ○ 副看護部長 ○ 副看護部長	伊藤 妙登美 佐藤 裕子 井龍 久美子	△ 各師長 (交代)		【看護部門】 看護師長・看護部長が指名した看護師

勤務医看護師 負担軽減策会議	勤務医等の負担 軽減に関すること	年2回	◎ 病院長 ○ 事務本部長	松波 和 寿 杉 下 実	△総務部部长	残 馬 仁	【医師部門】診療局長、診療支援部長、病院顧問 【看護部門】看護本部長 【事務・コグニティブ関係】事務本部副本部長、人事部長、臨床研修医室主任、中央検査室部長、中央放射線室部長、リハビリテーション科部長、中央放線室部長、栄養科主任、臨床工学科学部長、薬剤部長、秘書室課長、地域医療介護連携室部長
-------------------	---------------------	-----	------------------	-----------------	--------	-------	---

医師プロフィール（医長以上）

（2021 年 4 月 1 日現在）

【総合内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村山正憲	内科一般 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科（内科）専門医 指導医 認定病院総合診療医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会
山田梨絵	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝科（内科）専門医 認定医 認定病院総合診療医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本感染症学会 日本高血圧学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会
傍島卓也	内科一般 呼吸器疾患	日本内科学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医	日本内科学会 日本呼吸器学会
岩田 暁	内科一般 感染症	日本内科学会 日本内科学会 日本感染症学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 感染症専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本感染症学会 日本臨床微生物学会

【内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
村井敏博	総合内科 消化器疾患 内分泌・代謝学 （糖尿病）	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 教育病院指導医 糖尿病専門医 研修指導医 認定 ICD	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本感染症学会
杉本浩志	循環器疾患 一般外科			

安田圭吾	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本臨床検査医学会 日本ステロイドホル モン学会	認定内科医 名誉会員 内分泌代謝科 (内科) 専門医 内分泌代謝科指導医 功労評議員 糖尿病専門医 研修指導医 功労評議員 臨床検査管理医 名誉会員	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本ステロイドホルモン学会
森下哲司	循環器内科	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 日本心血管インターベン ション治療学会認定医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベン ション治療学会
草深裕光	内科一般 医療情報	日本内科学会 日本透析医学会 日本 TDM 学会 米国内科学会 日本医師会	総合内科専門医 透析専門医 評議員 FACP(Fellow of the American College of Physicians) 認定産業医	日本内科学会 米国内科学会 (ACP) 日本透析医学会 日本 TDM 学会 日本医療情報学会 日本診療情報管理学会 医療の質・安全学会 日本臨床倫理学会 日本クリニカル・パス学会

【医療管理】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
日置敦巳	感染症対策 健康管理	ICD 制度協議会 日本医師会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会	認定 ICD 認定産業医 専門医 社会医学系指導医	日本感染症学会 日本産業衛生学会 日本職業・災害医学会 日本臨床寄生虫学会 日本内科学会

【消化器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
田 上 真	肝臓治療全般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝癌研究会 リザーバー研究会 日本緩和医療学会
荒木寛司	消化器内視鏡診 断・治療 炎症性腸疾患 門脈圧亢進症	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本門脈圧亢進症学会	認定内科医 総合内科専門医 東海地方会評議員 消化器病専門医 指導医 評議員 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 社団評議員 東海支部幹事 東海地方会評議員 技術認定取得医 評議員	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本消化管学会 日本肝臓学会 American Society for Gastrointestinal Endoscopy 日本癌学会
杉原潤一	肝臓病学 消化器病学	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本医師会 ICD 制度協議会	認定内科医 東海支部評議員 消化器病専門医 指導医 名誉支部会員 評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 肝臓専門医 指導医 西部会評議員 認定産業医 認定 ICD	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本消化器内視鏡学会 日本急性肝不全研究会 日本感染症学会

伊藤康文	消化器疾患 内分泌代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会	認定内科医 総合内科専門医 研修指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 糖尿病専門医 研修指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 内分泌代謝科指導医 肝臓専門医 ピロリ菌感染症認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会 腸内細菌学会 日本臨床腸内微生物学会 日英炎症性腸疾患学会 日本消化器免疫学会
早崎直行	消化器疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本医師会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会
浅野剛之	消化器疾患 内分泌・代謝疾患 総合内科	日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本化学療法学会 ICD 制度協議会 日本内科学会救急委員会	認定内科医 総合内科専門医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 抗菌化学療法指導医 認定 ICD JMECC インストラクター	日本内科学会 日本内分泌学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本東洋医学会 日本糖尿病学会 日本化学療法学会 日本肝臓学会

河口順二	消化器疾患 胆道・膵臓領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 指導医 指導医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会
中西孝之	消化器疾患 消化管領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器外科学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会
全 秀 嶺	消化器疾患			
木村有志	消化器疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会

【腎臟內科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
矢島隆宏	腎臓疾患 糖尿病	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本腎臓学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 腎臓専門医 指導医 透析専門医 指導医 専門医 指導医 内分泌代謝（内科）専門医 糖尿病専門医	日本内科学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会

【呼吸器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
坂 英 雄	肺がんの化学療法 気管支鏡による診 断・治療 呼吸器インターベ ンション	日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構	認定内科医 総合内科専門医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌学会 日本肺癌治療学会 日本メディカル AI 学会 American Society of Clinical Oncology American Thoracic Society American College of Chest Physicians,Fellow Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology Asian-Pacific Society of Respiriology European Respiratory Society International Association for the Study of Lung Cancer World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology

【循環器内科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
森田則彦	循環器疾患 (心臓・大動脈・ 末梢血管)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 評議員 循環器専門医 認定医 専門医	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会
上野勝己	循環器疾患 (カテーテル治療)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 専門医	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈学会 日本救急医学会 日本糖尿病学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心臓リハビリテーション学会

香曾我部泰	不整脈	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会 日本心不全学会、日本 不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 不整脈専門医 植込み型除細動器 / ペー シングによる不全治 療研修証	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会
小島好修	心疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 浅大腿動脈ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本心血管インター ベンション治療学会 日本心不全学会、日本 不整脈心電学会 厚生労働省	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 浅大腿動脈ステントグラフト 実施医 認定医 植込み型除細動器 / ペーシ ングによる不全治療研修証 日本 DMAT 隊員	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本静脈学会
近藤裕樹	循環器疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 浅大腿動脈ステントグラ フト実施基準管理委員会 日本心不全学会、日本 不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 浅大腿動脈ステントグラフト 実施医 植込み型除細動器 / ペーシ ングによる不全治療研修証	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心不全学会
江崎正泰	循環器疾患	日本内科学会 日本循環器学会 日本医師会	認定内科医 循環器専門医 認定産業医	日本内科学会 日本循環器学会

【血液・腫瘍内科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
鶴見 寿	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本臨床内科医会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 日本エイズ学会 日本エイズ学会 日本造血細胞移植学会 日本輸血・細胞治療学会 ICD 制度協議会 日本骨髓腫学会	認定内科医 総合内科専門医 評議員 臨床内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 消化器内視鏡専門医 がん薬物療法専門医 指導医 協議員 がん治療認定医 認定医 認定指導医 造血細胞移植認定医 東海支部評議員 認定 ICD 代議員	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本エイズ学会 日本造血細胞移植学会 米国血液学会 日本感染症学会 日本クリニカルパス学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床内科学会
原 武志	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 東海支部評議員 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会

李 心	血液内科、腫瘍内科、内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 血液専門医 指導医 がん薬物療法専門医 認定 ICD	日本血液学会 日本内科学会 日本造血幹細胞移植学会 日本臨床腫瘍学会 日本感染症学会
藤田 慧	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、貧血	日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会	認定内科医 総合内科専門医 血液専門医 指導医	日本血液学会 日本内科学会

【小児科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
林 照恵	気管支喘息 アレルギー疾患 小児発達	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本小児科医会	小児科専門医 アレルギー専門医(小児科) 「子どもの心」相談医 地域総合小児医療認定医 地域総合小児医療認定医 指導者	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児アレルギー学会 日本小児神経学会 日本小児感染症学会 日本小児リウマチ学会 日本周産期・新生児医学会
笠原由貴子	小児一般	日本小児科学会 日本小児科医会	小児科専門医 「子どもの心」相談医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会

【外科・消化器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波 英一	大腸肛門科領域 全般	日本外科学会 日本臨床外科学会	認定医 評議員	日本外科学会 日本医師会 日本臨床外科学会
松波 英寿	一般外科 移植外科	日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本移植学会 日本移植学会 細胞治療認定管理師 制度協議会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本医師会 日本スポーツ協会	外科専門医 指導医 評議員 認定医 移植認定医 代表員 細胞治療認定管理師 世話人 評議員 認定産業医 公認スポーツドクター	The Transplantation Society The Transplantation Society of Australia and New Zealand The International Society for Artificial Organs 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本移植学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本外科系連合学会 日本癌治療学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 東海外科学会 日本肝癌研究会 日本輸血細胞治療学会 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会 日本肥満学会 セルロース学会 日本公衆衛生学会 日本臨床検査医学会 日本肥満症治療学会

關野考史	消化器外科 (腹腔鏡下大腸 切除等) 内分泌外科 (甲状腺等)	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 消化器病専門医 肝臓専門医 暫定指導医 技術認定(消化器・一般外科) 評議員	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本肝胆膵外科学会 日本大腸肛門病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本内分泌外科学会 日本臨床外科学会
木村真樹	上部消化管内視鏡 ロボット支援手術 肝胆膵外科 甲状腺外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定医機構 日本食道学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 がん治療認定医 食道科認定医 肝胆膵外科高度技能指導医 評議員 技術認定(消化器・一般外科) 評議員	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本胸部外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会
栃井航也	腹腔鏡手術 (消化管、ヘルニア) 肝胆膵外科 甲状腺外科	日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本がん治療認定医機構 日本内分泌外科学会 日本甲状腺学会 日本医師会 日本医師会 厚生労働省	外科専門医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 技術認定(消化器・一般外科) 評議員 大腸肛門病専門医 評議員 がん治療認定医 内分泌外科専門医 甲状腺学会専門医 認定健康スポーツ医 認定産業医 麻酔科標榜医	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本外科系連合学会 日本腹部救急医学会 日本内分泌外科学会

田尻下敏弘	外科一般	日本救急医学会	救急専門医	日本救急医学会
平田伸也	外科一般	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 内痔核治療法研究会 日本がん治療認定医機構 日本がん治療認定医機構 厚生労働省	外科専門医 消化器がん外科治療認定医 専門医 硬化療法 (ALTA) 実施資格 がん治療認定医 マンモグラフィー読 影認定医 麻酔科標榜医	日本外科学会 日本消化器外科学会 内痔核治療法研究会

【心臓血管外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
熊田佳孝	心臓・大腸脈の 手術末梢血行 障害の治療 フットケア	日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管 外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管 外科専門医認定機構 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 心臓血管外科専門医 修練指導者 胸部ステントグラ フト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラ フト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステント グラフト指導 医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本心臓血管外科学会 日本脈管学会 日本集中治療学会 日本フットケア学会 日本心不全学会

河合憲一	成人心血管外科手術 大動脈外科手術	日本外科学会	外科専門医	日本外科学会
		三学会構成心臓血管外科専門医認定機構	心臓血管外科専門医	日本胸部外科学会
		日本脈管学会	脈管専門医	日本心臓血管外科学会
		日本静脈学会	研修指導医	日本血管外科学会
		日本静脈学会	弾性ストッキング	日本脈管学会
			圧迫療法コンダクター	日本静脈学会
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	胸部ステントグラフト実施医 Zenith TX2TAA Endovascular Graft	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	胸部ステントグラフト実施医 VALIANTCaptivia	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	胸部ステントグラフト指導医 Zenith TX2/Alpha	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステンングラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT スtentグラフトシステム	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステントグラフト実施医 AFX ステントグラフトシステム	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステンングラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis	
		日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステントグラフト指導医 AFX ステントグラフトシステム	
		下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会	下肢静脈瘤に対するレーザー焼灼術の実施基準による実施医	
		血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医	
		日本医師会	認定産業医	

石田成吏洋	成人心臓・大動脈外科手術 低侵襲心臓手術(MICS)	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本脈管学会 日本脈管学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 指導医 心臓血管外科専門医 修練指導者 脈管専門医 研修指導医 胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステングラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステングラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会 日本循環器学会 日本冠疾患学会 日本脈管学会 日本冠動脈外科学会
水野 裕介	成人大血管	日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会	外科専門医 心臓血管外科専門医 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会

【整形外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
福田 雅	整形外科一般 関節外科 肩関節外科 筋骨格系超音波診断	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本整形外科学会 中部日本整形外科 災害外科学会	整形外科専門医 スポーツ医 リバース型人工肩関節実施医 評議員	日本整形外科学会 日本肩関節学会 日本股関節学会 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本人工関節学会 日本骨折治療学会 日本足の外科学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会
日置 暁	脊椎脊髄外科	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脊椎脊髄病学会	整形外科専門医 脊椎脊髄病医 脊椎脊髄外科専門医 指導医	日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本側彎症学会 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 中部日本整形外科災害外科学会
田中 薫	整形外科一般	日本整形外科学会 日本整形外科学会	整形外科専門医 運動器リハビリテーション医	日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会
石丸大地	整形外科一般（関 節外科・外傷整形）	日本整形外科学会 日本整形外科学会 Ao Trauma Japan	整形外科専門医 研修指導者 評議員	日本整形外科学会 Ao Trauma Japan
山口良大	整形一般（特に 救急外傷整形）	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本救急医学会 日本骨折治療学会 日本脊椎脊髄病学会

【脳神経外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
澤田元史	脳卒中 脳動脈瘤 脳腫瘍 三叉神経痛、顔面痙攣に対する機能外科 脳血管内治療	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 脳卒中指導医 技術指導医 専門医 指導医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会 日本癌学会 米国癌学会 (AACR) 日本脳神経外科コンgres
澤田重信	脳血管障害	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 脳血栓回収療法実施医	日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経外科コンgres

【呼吸器外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
春日井敏夫	肺癌 縦隔腫瘍	日本外科学会 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 呼吸器外科専門医合同委員会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本緩和医療学会	外科専門医 指導医 認定医 呼吸器専門医 指導医 呼吸器外科専門医 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医 がん治療認定医 認定医	日本肺癌学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本胸部外科学会 日本緩和医療学会

【形成外科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
北澤 健	形成外科全般 (特に眼瞼手術、マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など)	日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本手外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	形成外科専門医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 手外科専門医 乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師	日本形成外科学会 日本手外科学会 日本マイクロサージャリー学会 国際形成外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

【皮膚科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
浅野由祐子	皮膚科一般	日本皮膚科学会	皮膚科専門医	日本皮膚科学会

【泌尿器科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
濱本幸浩	血液浄化 腹膜透析 前立腺疾患 神経因性膀胱	日本泌尿器科学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本内科学会	泌尿器科専門医 透析専門医 指導医 認定内科医	日本泌尿器科学会 日本透析医学会 日本内科学会 日本腎臓病学会 日本循環器病学会
萩原徳康	感染 内視鏡手術 アンドロロジー 腫瘍	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会 日本がん治療認定医機構 日本泌尿器内視鏡学会	泌尿器科専門医 指導医 がん治療認定医 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定	日本泌尿器科学会 日本アンドロロジー学会 日本泌尿器科内視鏡学会 日本癌治療学会

【産婦人科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
松波和寿	周産期 不妊症 腫瘍 内分泌 腹腔鏡手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会 日本クリニカルパス学会 日本クリニカルパス学会 日本医療マネジメント学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 社会医学系専門医 社会医学系指導医 パス指導者 理事 評議員 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本クリニカルパス学会 日本生殖医学会 日本医療マネジメント学会 日本内視鏡学会 日本受精着床学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本産婦人科医会
今井篤志	生殖内分泌 女性医学	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科腫瘍学会 日本生殖医学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 婦人科腫瘍専門医 婦人科腫瘍指導医 生殖医療専門医 内分泌代謝科（産婦人科）専門医 内分泌代謝科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本内分泌学会 日本生殖医学会 米国内分泌学会 米国実験医学生物学会 米国生殖医学会

川 鱈市郎	周産期 画像診断 胎児診断治療	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本周産期新生児学会
高 木 博	産婦人科全般 腹腔鏡 膣式手術	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本女性骨盤底医学会 日本産婦人科手術学会
市 古 哲	産婦人科全般	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 岐阜県医師会 日本母体救命システム 普及協議会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 母体保護法指定医師 J-MELS ベーシックイ ンストラクター	日本産科婦人科学会 日本周産期・新生児医学会 日本サイコオンコロジー学会

【眼科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
松波智恵子	眼科一般	日本眼科学会	眼科専門医	日本糖尿病眼学会 日本眼科学会
末森晋典	網膜硝子体手術 抗 VEGF 薬治療 眼形成手術 白内障手術	日本眼科学会	眼科専門医	日本眼科学会 日本網膜硝子体学会 日本眼科手術学会

【耳鼻咽喉科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
永井裕之	耳鼻咽喉科全般	日本耳鼻咽喉科学会 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医 補聴器相談医	日本耳鼻咽喉科学会
飯田達夫	耳鼻咽喉科全般 耳画像学	日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	日本耳鼻咽喉科学会 日本小児耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉臨床学会 日本めまい平衡医学会

【麻酔科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
江崎善保	麻酔全般 慢性疼痛のコントロール	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会
橋本慎介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本臨床麻酔学会 日本集中治療医学会
田中亜季	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 日本緩和医療学会
小島明子	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 麻酔科専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会
三上大介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本医師会	麻酔科認定医 麻酔科専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定産業医	日本麻酔科学会

【リハビリテーション科】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
松波紀行	ペインクリニック 麻酔管理 リハビリ全般 肥満診療 スポーツ医学全般	日本スポーツ協会 日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本慢性疼痛学会 日本自己血輸血学会、 日本輸血・細胞治療学会 日本自己血輸血学会、 日本輸血・細胞治療学会 日本医療メディエーター協会 日本医師会 日本医師会	公認スポーツドクター ペインクリニック専門医 麻酔科認定医 麻酔科専門医 指導医 麻酔科標榜医 慢性疼痛専門医 細胞治療認定管理師 学会認定・自己血輸血 責任医師 認定医療メディエーターB 認定健康スポーツ医 認定産業医	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本リハビリテーション医学会 日本肥満学会 日本輸血細胞治療学会

【メンタルケア科（精神科）】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
小島久典	精神科一般	日本精神神経学会 日本精神神経学会 厚生労働省	精神科専門医 精神科専門医制度指導医 精神保健指定医	日本精神神経学会

【救急総合診療科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
八十川雄図	心肺蘇生 脳卒中 機能神経外科疾患 神経画像	日本救急医学会 日本救急医学会 日本集団災害医学会 厚生労働省 全日本病院協会 Japan Clinical Simulation Organization American Heart Association American Heart Association NBCR 対策推進機構 日本母体救命システム普及協議会 日本脳神経外科学会 ICD 制度協議会 岐阜県危機管理部消防課 JPTEC 協議会	救急科専門医 ICLS・BLSコースディレクター MCLS 世話人 統括 DMAT AMAT 隊員 ISLS 認定ディレクター ACLS インストラクター BLS インストラクター CBRNE テロ対策責任者1級 J-MELS ベーシックコース・イン ストラクター 脳神経外科専門医 認定 ICD 岐阜地域メディカルコ ントロール協議会委員 JPTEC プロパイダー	日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本神経外傷学会 日本脳神経外科コンgres 日本臨床救急医学会 日本災害医学会 日本集中治療医学会
白井知佐子	救急	日本救急医学会	救急科専門医	

【歯科口腔外科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
松原 誠	口腔外科全般	日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 ICD 制度協議会	口腔外科認定医 専門医 口腔科認定医 指導医 有病者歯科医療認定医 専門医 障害者歯科認定医 専門医 細胞診専門歯科医 認定 ICD	日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本頭頸部癌学会
池田 歩	一般歯科 口腔外科			日本口腔外科学会 日本口腔科学会 岐阜歯科学会

【病理診断科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
鬼頭勇輔	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会 厚生労働省	病理専門医 病理専門医研修指導医 学術評議員 細胞診専門医 教育研修指導医 死体解剖資格	日本病理学会 日本臨床細胞学会
池田庸子	外科病理 人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会	認定病理医 病理専門医 病理専門医研修指導医 細胞診専門医 教育研修指導医	日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査医学会 日本神経病理学会 日本癌学会 日本消化器内視鏡学会 日本乳癌学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本肺癌学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本脳腫瘍病理学会 日本外科病理学会
川島啓佑	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 分子病理専門医 細胞診専門医	日本病理学会 日本臨床細胞学会

【放射線科】

医 師 名	専 門 分 野	取 得 資 格		所 属 学 会
伊原 昇	がんに対する動 注化学療法画像 ガイド下のドレ ナー・ステン ト治療などの低 侵襲治療	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本インターベンシ ョナルラジオロジー学会 日本核医学会	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 IVR 専門医 PET 核医学認定医	日本医学放射線学会 日本核医学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本オートプシーイメージング学会

福田千春	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理 中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 検診マンモグラフィ 読影認定医師	日本医学放射線学会
高杉美絵子	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理 中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ 読影認定医師	日本医学放射線学会
竹田太郎	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会	放射線科専門医 放射線診断専門医	日本医学放射線学会 北米放射線学会 The American Roentgen Ray Society 日本腹部放射線学会

【回復期リハビリテーション病棟】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
平山宏史	脳血管障害の リハビリテーシ ョン（脳卒中）	日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科学会 日本スポーツ協会 日本医師会	認定臨床医 脳神経外科専門医 公認スポーツドクター 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科コンgres

【中央検査センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
河合 寿一	人間ドック 健診業務	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会 日本医師会	人間ドック認定医 救急科専門医 認定医 認定産業医	日本人間ドック学会 日本救急医学会 日本外科学会

【まつなみ健康増進クリニック】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
花立 史香	乳腺疾患	日本外科学会 日本外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳癌学会	認定医 外科専門医 がん治療認定医 乳腺専門医	日本外科学会 日本臨床腫瘍学会 日本乳癌学会 センチネルリンパ節研究会

【人間ドック・健診センター】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
林 慎	内分泌代謝学 (糖尿病・高脂血症)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本肥満学会 日本医師会	認定内科医 研修指導医 専門医 研修指導医 評議員 病態栄養専門医 研修指導医 NST コーディネーター 評議員 人間ドック認定医 専門医 健診指導医 評議員 人間ドック健診情報管理指導士 肥満症特例指導医 認定産業医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本総合健診医学会 日本肥満学会 日本内分泌学会 日本静脈経腸栄養学会

【介護老人保健施設】

医師名	専門分野	取得資格		所属学会
岩井知彦	脳卒中	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本医師会	脳神経外科専門医 脳卒中専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

2021 年度機器投資実績（主たるもの）

【機器一覧】

機器備品名：眼底カメラ購入 TRC-NW400 製造業者名：株式会社トプコン 購 入 業 者：株式会社リイツメディカル
機器備品名：入所者用ストレッチャー式器械浴更新 HK-255L-U1 製造業者名：オージー技研株式会社 購 入 業 者：平岩器械株式会社
機器備品名：低床電動ベッド 100 台 製造業者名：パラマウントベッド株式会社 購 入 業 者：株式会社トーカイ
機器備品名：ビッグウィールストレッチャー 製造業者名：日本ストライカー株式会社 購 入 業 者：株式会社八神製作所
機器備品名：空気感染隔離ユニット - ミンティ× 2 個 製造業者名：株式会社モレーンコーポレーション 購 入 業 者：株式会社八神製作所
機器備品名：人工呼吸器ハミルトン C1 × 2 台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購 入 業 者：CTM 株式会社
機器備品名：人工呼吸器ハミルトン C6 製造業者名：日本光電工業株式会社 購 入 業 者：CTM 株式会社
機器備品名：分娩監視装置 FM-20 製造業者名：アトムメディカル株式会社 購 入 業 者：井上精機株式会社
機器備品名：超音波気管支ビデオスコープ修理 BF-UC260FW 製造業者名：オリンパス株式会社 購 入 業 者：株式会社三輪器械
機器備品名：超音波画像診断装置 Voluson P8 BT18 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購 入 業 者：株式会社三輪器械
機器備品名：自動採血管準備システム故障修理不能のため更新 BC/ROBO-888 製造業者名：株式会社テクノメディカ 購 入 業 者：株式会社スズケン
機器備品名：超音波画像診断装置 LOGIQ E10x 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購 入 業 者：フクダ電子株式会社

機器備品名：血液浄化装置 TR-2020 製造業者名：東レ株式会社 購入業者：大誠医科器械株式会社
機器備品名：内視鏡システム LF-DP 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：超音波気管支ファイバビデオスコープ BF-UC290F 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：生体情報モニタ WEP-1450/ 送信機 ZS-630P 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：人工呼吸器ハミルトン C1 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：人工呼吸器ハミルトン C6 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：VAPR VUE(ジェネレータ) 購入 製造業者名：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 購入業者：有限会社ケイ・アイ・エス
機器備品名：重症難病患者拠点・協力病院設備整備費補助金 ベッドサイドモニタ PVM-4763 × 10 台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：調剤システム更新及び関連システム導入 製造業者名：株式会社湯山製作所 購入業者：株式会社メディセオ・富士フイルム株式会社
機器備品名：重症難病患者拠点・協力病院設備整備費補助金 人工呼吸器 HAMILTON C-1 × 5 台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：新規体組成計 (Inbody770) 製造業者名：株式会社インボディ・ジャパン 購入業者：CTM 株式会社・フクダ電子株式会社・日本電気株式会社・富士フイルム株式会社
機器備品名：自動採血管準備システム BC・ROBO-888 製造業者名：株式会社テクノメディカ 購入業者：株式会社スズケン

機器備品名：脊椎手術用鋼製小物セット・SC フレーム他購入 製造業者名：ミズホ株式会社・京セラ株式会社 購 入 業 者：株式会社八神製作所・有限会社ケイ・アイ・エス
機器備品名：クリーンパーテーション ACP897-DH × 10 台 製造業者名：日本エアーテック株式会社 購 入 業 者：井上精機株式会社
機器備品名：補助金で IABP(カーディオセーブ) × 2 製造業者名：ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 購 入 業 者：株式会社フェニックス
機器備品名：生体情報モニタ ZS-630P × 7 台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購 入 業 者：CTM 株式会社
機器備品名：関節鏡器械一式の更新 (リース) 製造業者名：スミス・アンド・ネフュー株式会社 購 入 業 者：有限会社ケイ・アイ・エス
機器備品名：ガーゼ付着量測定装置 (カウン太くん)OBM-21 α V 製造業者名：泉工医科工業株式会社 購 入 業 者：CTM 株式会社
機器備品名：温熱療法装置 (高周波式ハイパーサーミアシステムアスクーフ 8) 製造業者名：株式会社庄内クリエート工業 購 入 業 者：株式会社庄内クリエート工業
機器備品名：鏡視下手術機械 LF-DP 他 製造業者名：オリンパス株式会社 購 入 業 者：株式会社三輪器械
機器備品名：加温加湿器 MR 850 × 3 台 製造業者名：Fisher&Paykel HEALTHCARE 株式会社 購 入 業 者：CTM 株式会社
機器備品名：ヘモスフィア 2 一式 × 2 台 製造業者名：エドワーズライフサイエンス株式会社 購 入 業 者：エッチエスメディカル株式会社
機器備品名：超音波画像診断装置 Venue R3 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購 入 業 者：株式会社三輪器械

機器備品名：超低音フリーザー MDF-DC700VX-PJ 製造業者名：PHC 株式会社 購入業者：井上精機株式会社
機器備品名：輸液ポンプ TE-281N × 41 台 製造業者名：テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：超音波診断装置 (Vscan Air) 購入 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：分娩監視装置 FM-20 × 2 台 製造業者名：アトムメディカル株式会社 購入業者：井上精機株式会社
機器備品名：新生児モニタ PVM-4763 × 2 台 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：医局、研修医局改修のため机・パネル等の購入 製造業者名：株式会社イトーキ 購入業者：株式会社小見山家具製作所
機器備品名：顕微授精システム購入 製造業者名：オリンパス株式会社 購入業者：株式会社三輪器械
機器備品名：全身麻酔装置 Atlan A300 製造業者名：ドレーゲルジャパン株式会社 購入業者：株式会社メディカルシステムファンクション

松波総合病院
(SOUTH WING:南館) 介護老人保健施設

松波総合病院(NORTH WING:北館)



まつなみ健康増進クリニック

まつなみリサーチパーク

立体駐車場

病院給食に台湾パイナップル

笠松 松波総合病院で100キロ



調理される給食用のパイナップル

松波総合病院（笠松町）の松波英寿理事長は19日、同病院で記者会見し、病院給食で台湾産パイナップルが買入ることで、台湾を支援

の使用を始めたと発表し

た。中国が輸入を停止しているパイナップルを同病院が買入ることで、台湾を支援

するのが目的としている。台湾産パイナップルは、昨年より期以上で中国向けに輸出されたが、中国からは衛生を理由に3月から輸入を停止している。同病院では、東日本大震災では台湾から多くの支援を受けたとして、「行き場を失ったパイナップルに手を差し伸べたい」と松波理事長と、病院給食での使用を決めた。約100キロを調達、入院患者等に提供する。



台湾産パイナップルを手にする市世門局長（左から3人目）と松波英寿理事長（同2人目）ら。羽島地区振興会代表、松波総合病院

台湾パイナップル購入

松波総合病院 震災復興支援の恩返し

中国産が3月から輸入を停止し、行き場を失っている台湾産パイナップルの消費を支援するため、羽島地区振興会代表の松波英

台湾のパイナップルの輸出先は、これまで、9割以上が中国だったという。全国の四つの病院団体が構成する「四病院団体協議会」は3月、台湾産パイナップルを病院給食に利用するよう提案している。

19日には、台湾の総領事に相当する台北駐大総経済文化弁事処の李世門局長がお礼のため、同病院を訪れた。松波理事長は「東日本大震災の際、台湾から多くの義捐金を受け、被災地の病院再建にも役立った。その恩返しの思いでパイナップルを輸入する」と話した。

李局長は「自然災害などで日本と台湾は助け合い、交流は重要。台湾のパイナップルは本来おいしい。日本で食べられるよう期待している」と語り、感謝の気持ちを込めて義捐金手帳を贈った。

同病院では100キロ以上のパイナップルを購入する予定で、6月末に給食で提供する。（高橋陽次）

読売新聞 21.4.20

岐阜新聞 21.4.21

台湾産パイナップルを給食利用

中国輸入停止で

松波病院が支援

笠松町の松波総合病院は十九日、入院患者向け給食に、中国の輸入停止で行き場を失った台湾産パイナップルの利用を始めた。台湾産パイナップルは九割以上を中国に輸出していたが、中国は三月から輸入停止措置を講じている。

二〇一一年の東日本大震災では、台湾からの多くの支援が宮城県内の公立病院再建に役立った。全日本病院協会などをつくる「四病院団体協議会」が積極的な購入を申し合わせるなど、全国の医療機関が台湾の支援に感謝を示そうと



台湾産パイナップルをPRする松波理事長（左から2人目）、李局長（同3人目）ら。笠松町の松波総合病院で

は「医療は困っている人へ手を差し伸べるのが使命。何らかの形で恩返しできれば」とあいさつ。台湾の領事館にあたる「台北駐大阪経済文化弁事処」（大阪市の李世門局長は「台湾産のパイナップルは甘くて心まで食べられる。日本の皆さんに食べてもらいたい」と話した。（浜崎陽介）

中日新聞 21.4.22

6回接種可能な 注射器600本提供

笠松町に松波総合病院

新型コロナウイルスワクチン接種を効率的に進めてもらうべく、松波総合病院を運営する社会医療法人蘇西厚生会（羽島郡笠松町）が21日、薬液を無駄なく利用できる特殊な注射器600本を同町へ提供した。町は22日から始まる要介護、要支援者向けの2回目の接種で活用する。

国は当初、ワクチン1瓶から5回接種できる注射器

古田聖人町長に注射器の入ったケースを手渡す松波英寿理事長（右）。羽島郡笠松町役場



を全国の市町村へ配布していた。提供の注射器は6回の接種が可能。

松波英寿理事長が町役場を訪れ、古田聖人町長に注射器の入ったケースを手渡した。松波理事長は「ワクチン接種を進めるため、やることは何でもやるという決意だ」と述べた。古田町長は感謝を伝え、「町民の健康を守るため、全力でワクチン接種を推進する。医

師会、町と一体となって頑張る」と語った。特殊な注射器はテルモ社製。従来の注射器より残量を抑えられる形状となっている。（三輪真大）

岐阜新聞 21.5.22

6回採取の注射器 松波総合病院贈る

笠松町に

笠松町での高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種に役立ててもらおうと、松波総合病院（笠松町）は二十一日、ワクチン一瓶から六回採取できる注射器六百本を町に寄贈した。

米ファイザー製のワクチンは、生理食塩水で薄めて使うが、瓶から注射器に移す作業でワクチンのロスが生じる。一瓶で六回の接種が想定されていたが、当初国から町に届いたのは五回接種できる形状の注射器だった。

病院の松波英寿理事長が町役場を訪れ、六回接種できるタイプのシリンジと針を古田聖人町長に手渡した。町は、六十五歳以上を対象にした集団接種に活用する。

松波理事長は「住民への接種を早く終わらせるために、われわれも最大限努力したい」とあいさつ。古田町長は「ありがたい申し出。医療機関と行政が一体となって、住民の健康を守るため頑張っていきたい」と話した。（浜崎陽介）



ワクチンを6回接種できる注射器を古田町長等に提供した松波理事長（右）。笠松町役場で

中日新聞 21.5.22



「先生、私とこんなに血圧が高いんです」。血圧手帳を見てみると、朝の血圧は134/82で、この2週間の平均血圧も130/80から140/90を推移していました。「血圧が130を越えたら」といった「こまめな」心配をします。心配をすることは当然です。では本当に血圧は厳格にコントロールされるべきなのでしょうか？

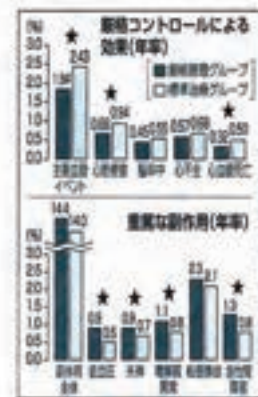
血圧の管理



循環器内科医

上野勝己氏

を続けて、結果がまとめられました。図1 SPRINT試験（NEJM誌5月20日）全体の平均観察期間3.5年での主要心血管イベント（心筋梗塞、不安定狭心症、脳卒中、心不全）は厳格管理グループで6.7%（年率1.84%）でしたが、標準治療グループでは8.8%（年率2.43%）で、統計学的に有意に、厳格コントロール群で良好でした。



「低ければ低いほどいい」？

患者ごとにメリットとリスク

万三千人の高齢者が望患・転倒・脳卒中・腎臓病などの不慮の事故で亡くなっています。高齢者の救急搬送の80%は転倒・脳卒中によるもので4割は入院が必要で、この入院をきっかけに寝たきりになるリスクが高くなる（要介護になる原因の12.5%を占める）、命取りといえます。

これからの季節は、血管の収縮と発汗に伴う脱水傾向から血圧は低下傾向になります。降圧薬が効き過ぎて過度の低血圧や腎臓病が起きやすくなります。夏場には降圧薬の減量が必要な場合もあります。目まい・立ちくらみ・めまいなどの症状に注意し、また家庭血圧を記録することが大切です。

血圧は低ければ低いほどいい？ メリットとリスクの大小は患者一人一人で異なります。かかりつけ医と相談しながら安心して効果のある血圧管理をしましょう。

（松波総合病院心臓血管センター長 羽島雄登松町田代）

岐阜新聞 21.6.16



美顔器を寄贈した金松月社長(右から2人目)と松波総合病院の看護士ら。笠松町田代、同病院

松波総合病院に美顔器100台贈る

羽島市のメーカー

羽島市江吉町の美顔機

器開発販売（ARTIST I C & CO. GLOBAL）（金松月社長）は、新型コロナウイルスの入院患者の看護に従事する看護士や職員にリフレッシュしてもらおうと、松波総合病院（笠松町田代）に、同社が市内の工場と製造している美顔器100台と美容液・ジェル計3千本（計236万5千円相当）を寄贈した。同病院で贈呈式があり、金松月社長は「看護士はマスクなど防護を着けて従事し、肌荒れをしやすい。素晴らしい贈り物を頂き、感謝する」とお礼を述べた。美顔器は看護士らが自宅に持ち帰って使用する。

金松月社長は「私たちの命を守るため、苦勞されている看護士さんらに、少しでも元気になってもらえれば」と語った。（笠松町田代）

岐阜新聞 21.6.18

水害時、住民避難で屋上開放
笠松の3事業所
施設提供で協定

幸町町は、町内の社会福祉施設人・藤岡厚生会(田代)、光製作所(中野)、岩倉工務店(米野)の3者と災害時などに一時的な避難場所として、施設の提供を受ける協定を結んだ。

福西町長（右2）と蘇西厚で、古田郷人町長と蘇西厚
 代表者による古田郷人町長
 代表者による古田郷人町長
 代表者による古田郷人町長

生、松坂屋百貨店社長、光製作所の松原政弘社長、岩倉工務店の岩倉正則社長が協定書に署名した。

古田町長は「木曾川が流れる笠置町は本書の構えが、大きな課題だったが、国庫提供を快く引き受けてもらっている」とお礼を述べた。

3者を代表して松坂屋理事長は「いざという時は逃げ込んでおれば、難を避ける。町のためにできることを尽すたい」とあいさつした。（松坂屋側次）

岐阜新聞 21626

教えて
ホムドク

コロナ機の現在、日常生活で体温を測定する機会が多々あります。日本人の体温の平均は第・8年度で、7割くらいの方が36・6度で、それより1度の間です。そして1日を通して体温変化は1度以内にとどまります。なぜ1日の体温が37度前後に保たれているのかを考え直してみましょ。

体温の調節機能

皮膚の温度センサーが熱と冷感を知り、その情報は神経を通じて脳の「体温調節中枢」に伝えられます。すると、この体温調節中枢からの指令が神経を通じて皮膚に伝えられ、皮膚の毛細血管が細くなったり、皮膚から熱が逃げるのを知えられます。また筋肉を震えさせて熱発生を促します。これらの活動により、

体温調節中枢(視床下部)

温度センサー(皮膚)

体温低下

体温上昇

発汗・放熱

毛細血管収縮・放熱の抑制

体質上によるものです。特に暑いと感じる場合には、胸を絞るように胸汗を促し、汗の蒸散促進を心がけます。

ウイルスや細菌などが体内に入り、高熱が生じるとプロスタグランジンが産生されます。プロスタグランジンは体温調節中枢に働きかけ、体温の設定温度を上昇させます。身体各部に体温を上げるようにという指令が出ます。

妊娠初期は口内炎の多い女性もいます。これは多量な黄体ホルモンの分泌が原因で、口内炎の発生は認められ

乳児は「褐色脂肪細胞」で維持

これとは別に、以下には「脂肪を燃やして熱を発生する」特別な仕組みが働いています。脂肪分を食口で「こけて」食べると、これを「こける」のではなく、脂肪細胞と呼ばれる、脂肪の貯蔵庫とされています。運動をする「と」これを熱を作り出します。乳児の胃、腸と骨格筋と脂肪の下に多く存在し、年齢とともに減少します。運動量の少ない乳児が体温を維持するためには、この脂肪細胞の脂肪が多くあるためといわれています。また、出生時には血管に外気とさらされますが、体温の低下を防ぐ役割も担っています。

下の体温はわずか0.5度の上昇でも体温の変化を体感（覚悟）に現れていますが、体温を調節する限度を超えると意識障害や死に至る場合もあります。これからの時期は熱中症に注意しましょう。

松島総合病院環境課内分室
サントリー長 羽島紀彦氏
田代

温度管理 I o T
松波病院が開発

松島総合病院（石巻市）松島口は、新型コロナウイルスの感染を防止する冷風式の空調が導入された。冷風式の空調が導入されたのは、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、空調の温度を調整する冷風式の空調が導入された。冷風式の空調が導入されたのは、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、空調の温度を調整する冷風式の空調が導入された。



スマートフォンに送信された冷蔵庫の温度変動を示す折れ線などの情報
—群馬県安井町時代、柏崎親会病院—

ワクチン冷蔵庫の異常、スマホに通知

市、スマホに通知
自動送信する。専用アプリ
をインストールすれば、リ
アルタイムで温度を確認す
ることもできる。

波和赤崎両氏は「手術も
らず、安心してウクチン
を保管することができ」と
話す。

IoTソリューションは
同病院が掛け負う医療従
業で既に企業が活用して
り、他の医療機関が行う
クチン「環境」にも提供
する。

（長崎県）

（圖 10-1-1）

古田町長（中央）に大会での健闘を誓う杉浦選手
と神島選手（右から2人目）＝笠松町校場で



岐阜新聞 21.7.15

柔道国体東海予選へ気合

笠松町長訪問 神鳥選手と杉浦選手

静岡県で八月に開かれる柔道の国体東海予選に出場する笠松町の神島剛選手(二〇)・松波綜合病院と、岐阜市出身の杉浦孝晴選手(二二)・愛知大四年一が十六日、笠松町役場を訪れ、古田聖人町長(左)に大会での健闘を誓った。

二人は柔道成年男子の団体戦に出場する予定。古田町長から「岐阜の代表として良い成績を期待しています。チームのために頑張ってください」と激励されると、両選手とも一層表情を引き締めていた。

神島選手は小内刈りなどの足技が得意。相手の手で試合を優勢に進め、「内管ではなく結果にこだわりたい」と選手は。

杉浦選手は大学のほか、笠松町にある松波総合病院の選手たちの練習にも参加している。

「強い先輩たちと一緒に練習してきた。日本一を目指して頑張る」と力強く語った。(酒井良之)

(附註三)

国体柔道 予選へ闘志

神鳥さん(松澤)、杉浦さん(栗)決意



大会での活躍を賞った神島剛さん(百から2人目)と杉浦孝雄さん(右端)ら＝笠松町役場

会 8月26日・静岡市に、
坂井男子（団体）の代表
メンバーとして出席する松
浦雄介（左）と、市道
部の神島剛さん（右）。市道
部と、愛知4年の松浦冬
晴さん（左）。坂井市が、
同部会の松浦高井理事長ら
と共同投資を結ぶ。市道部

人町長に意気込みを語った。

2人は7月の県庁車別選手権で好成績を挙げ、県選抜メンバーに選ばれた。予選会は国体開催地の三重県をめぐり、東海地区3県の代表が出場し争った。

大將を任される神島さんは「(成年男子では)県は

しばらく団体に出ていないので、幾分赤でも優勝したい」。来年春、同朋隊に就任する桂浦さんは次鋒を務め、「高校3年生の時以来の団体出場を目指して頑張りたい」とそれぞれ決意を語った。

「存在がなすところこそ、人間性」

岐阜新聞 21.7.30

外来に抗体カクテル療法

県内で始まる 供給増加に期待

新型コロナウイルス患者の重症化を防ぐために点滴薬を投与する「抗体カクテル療法」の外来診療での実施が、県内の医療機関でも始まっている。

〔坂崎陽介〕

ロナプリーブという液体状の薬で、投薬直前にカシリヒマブとイムデヒマブという二種類のウイルス中和抗体を混ぜて作る。ウイルスの突起部分に結合し、働きを抑える。発症から一週以内の軽症、中等患者向けで、重症化予防に高い効果を示している。

抗体を凝らせて作る。ウイルスの突起部分に結合し、働きを抑える。発症から一週間以内の軽症、中等患者向けで、重症化予防に高い効果を示している。

抗体カクテル療法について説明する鶴見病院長代理。いずれも箕輪町田代の松波総合病院で



二十五日、夕張新聞での特

県内でも入院患者には使われていたが、県が病院に外来患者への活用を打診。



「肌体力クテル療法
で治せる2種類の薬

第一号となった笠松町田代の松波聯合病院では八月三十日から投与が始まった。

供給量に限りがあるため、同病院では当面、一日四人までで、保健所が調整して重症化リスクの高い五十歳以上や基礎疾患がある人などを対象にする。点検後、副反応がないか見た上で宿泊療養施設に移す。

病院で会見した鶴見寿雄院長代理（右）によると、重症化リスクを7割減らすことができ、副反応が出るのは0・2％程度。鶴見病院長代理は「今後、供給量が増え、ワクチンの普及と合わせて社会全体で何とかロナが沈静化していけば」と期待を示す。

岐阜市民病院でも一日から始まり、一日二人までに投与している。県業務水道課によると、今後、コロナ

の入院患者を受け入れている県内の他の医療機関でも実施が検討されている。

接待伴う飲食店やホテル 3組合
従業員ら職域接種開始



新型コロナウイルスワクチンの接種を受けるホデルは議員 - 引島郡茨城町時代、松政知事就任

「『自信持って仕事できる』で、現金体で安心感下りてくる」と強調した。

「一冊を手にあびていた」とするのは、株式会社東京子生園生園生会長の岡田千生子氏。岐阜市と名古屋市は、14日以前、秋葉原の駅は14日以前、秋葉原の

初回は協議会を受けた市平
ル従業員の中村陽美さん
(44)＝大田市＝は「今後
雇用対策を講じる」とに
わりのないが、自信を持
て仕事に返すであろう」と
した。

(武蔵野子)

[illegible]

教えて
ホムドゥル

[illegible]

慢性腎臓病の治療

慢性腎臓病のステージ分類(簡易表)

	αGPI	腎機能の状況
ステージ1	90以上	正常
ステージ2	60-89	軽度低下
ステージ3a	45-59	軽度から中等度低下
ステージ3b	30-44	中等度から高度低下
ステージ4	15-29	高度低下
ステージ5	14以下	末期腎不全

慢性腎臓病の診断とスリーク（重症度）分類は血液検査と尿検査で行います。血液検査のデータをもとに、クレアチニン(Cr)とeGFRという項目の下に、GFR



陳世及說書錄

上野勝己氏

うになりました。

1ク（重訂版）分組は、
時表と同表裏で行います。

ついでエプアルとい
う項目があります。これ
は糖尿病が合併し、何
れかの臓器に異常な病
変が生じたことを意味
する。100.0%で合併症
が出現して、この病気が悪
化するばかりで回復
しない状態が合併症です。ス
トリーナには合併症がしま
りません。

Time (months)	Placebo (%)	Dabigatran (%)
0	0	0
4	1	0.5
8	2	1
12	3	1.5
16	5	2
20	8	3
24	11	4
28	14	5
32	18	7
36	21	9

CDの複製のポイン
は特許を侵害しないこ
です。これまでは、民間集
の複製を公衆提供、極めて
初期に注目の使用しかあ
りませんでした。その影響
はゼロに近すぎません
不十分です。しかし昨年
10月、アストルセキ社
のダブリッドロン（ラッ
シート）と、その複製技術
をCDに複製、転写して商業
的に流通させた大規模な
複製の量が出現した。タ
マ。

重症度診断、進行止める

悪化を抑える新薬に期待

それか25~75の4人の患者の半分はこの薬を半分にすればよい。胃腸能の回復に、実験野全への移行、死に至ったイベルにみる平均2・4年後の生存率75%以上、5人のイベントが発生した2例は、本剤投与は0・5mgの薬量、イベントを約6週間遅くさせた。しかもこの効果は腸胃能のあるなしにかかわらず出現した。胃腸能は「胃腸能」薬投与後24時間の回復率として承認し、

日本では、スティーブ・ジョブズの横死騒動は、10年前の統計で成人の8人に1人（1400万人）といわれ、2016年の統計では33万人が過労死を受け、いまや、横死の犠牲者は年齢に伴う増進化に伴う過労死患者が増えています。今後の成長が期待されます。

（経済総合開発心臓医療センター長、羽鳥隆雄氏松岡田代）

制限緩和「時期尚早では」

政府方針に医療従事者ら慎重姿勢

ワクチン接種が進んだ十二月から話し合っていくではないか」と話した。

した政府方針について、医療従事者からは慎重な声が続いた。

松枝総合病院の鶴見寿・院長は代理は「ワクチンで抗体が作られ

「今の段階では時期尚早ではない」と不確定な部分はまだあるので、

か」と語った。投票証紙の活用が、何でも勝利するのではなく、投票の検討されているが、「投票すれば問題だ」と慎重な判断を求めた。

平会長は九日、県の対策本員会

くは無心になる。周囲の話を聞いて、一歩引いて希望を持てる。見極めないと驚愕を囁らす。う、段階的解除の行程表を示して

総合健診センター所長も「まだその会議の最後に「緊張が緩んではいけません。ちよつとリスナールかなんか」

事なのは第五波を落し着かせることだと思っただけだ」と語った。

とて、緊急事態宣言が解除されて

（藤原啓嗣、浜崎陽介）

（附註）「**振興國貨**」

新型コロナ Q&A

抗体カクテル療法

新型コロナウイルス患者の重症化予防に取り入れられ始めた「抗体カクテル療法」。その効果や県内での運用状況をお答えします。

(浜崎陽介)

Q どんな治療ですか。

A 二種類の中和抗体を混ぜた「ロナプリーブ」という液状の薬を点滴で投与します。薬を混ぜるのでカクテル療法と呼ばれます。抗体がウイルスの突起部分にくっつき、人の細胞に結合させないようになるとともに増殖を抑えることで、症状を緩和します。

Q どのような効果が出ていますか。

A 海外の報告では、薬を使っていない人の重症化率は3・2%でしたが、投与した人は1%ほどに減少しました。症状がなくなる

効果と運用状況

重症化抑え速やかな症状改善

までの平均期間も十四日から十日に短縮。国内では投与した人の約八割が速やかに症状が改善したというデータもあります。

Q どのような人に投与していますか。

A 酸素投与を必要としない、発症から七日以内の軽症者か中等症の患者です。県内では五十歳以上あるいは、高血圧、肥満者、糖尿病などの基礎疾患がある重症化リスクの高い人に投与しています。

Q 現在の供給体制は。

A コロナ治療薬として米国のリジェネロンとスイスのロシエが共同開発し、国内では中外製薬(東京)が販売しています。供給量はまだまだ少なく、一日に投与できる人数には限りがあります。供給量が増えることが期待されますが、ワクチンを行き渡らせて発症そのものを予防することも重要です。

(松波英典、松波英典の鶴見寿病院長代理への取材などから構成)

中日新聞 21.9.10

岐阜市

「ICU稼働制限」「院内感染対策」 コロナ治療の現場語る



コロナ治療の最前線で取り組んでいる医療、院内感染対策などについて語る松波英典理事長(右端より)岐阜市長長福光、岐阜市長長福光

保団連がフォーラム

医療現場の課題などを議論する全国保険医団体連合会(保団連、住江義男会長)の第36回医療研究フォーラムが、岐阜市長長福光の都ホテル岐阜長良川などで開かれ、新型コロナウイルス

治療現場の現状などが語られた。毎年、全国の医師や歯科医師による臨床研究発表の場として開催しており、今年には同市を主会場に講演やシンポジウムを実施。医師

ら約250人がオンラインで参加した。新型コロナウイルスをテーマにしたシンポジウムでは、岐阜市医師会(羽島市長、松波英典理事長)の松波英典理事長が、医療現場の現状と院内感染対策などについて語った。鈴木市長は感染の第5波を振り返り、「重症患者を診る人員は限られ、ICU(集中治療室)の稼働を制限せざるを得ない時もあった」と病床が逼迫した状況を説明した。松波理事長は、ドライアスルー方式によるPCR検査など、医療スタッフの感染防止の取り組みを紹介した。

また、京都大学工学研究科の藤井聡教授(リスク心理学)は「さまざまな活動の自粛によって倒産、失業、うつ病、自殺などの副作用が起きている。自粛以外の道をいち早く探る必要がある」と警告を鳴らした。(山田雄大)

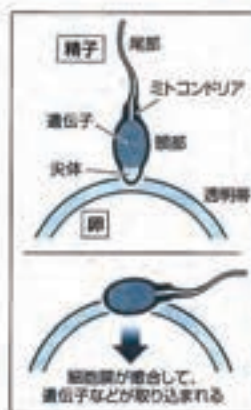
岐阜新聞 21.9.22

不妊治療は経済的負担が大きい。通院される治療と通院外（自宅）のものがあり、ますが、安易なものは公的医療保険は受けられない方針が固まっている。不妊力アップの約40～50%は男性側、つまり精子と原因があるといわれています。今後は要に知られていない精子について考えてみましょう。

通常、男性は陰道内に入ってきた精子の数は2～5億個です。そのうち、中に約0.5～1億個の精子があります。つまり、約1～4億個の精子が膣内にあることになる。膣液中の精子は新鮮で活動性があっても、そのままだでは卵と合体することができません。子宮・卵管の中を移動するにつれて卵と結合

教えて
ポンコツ

精子の働き



子宮・卵管で受精能獲得



今并篤志氏

体する能力を獲得します。
これを「精神獲得」といいます。

子宮内に着上った精子は、数日子宮内で生き続けますが、ほとんども死滅し、体に吸収されてしまいます。残った精子の先頭まで回り道することになった精子が自力で動くために、細胞にさうして詰め込まれたコンクリートでエネルギーが消費されて、ネアルキが誕生されます。また、受精細胞は卵細胞のタンパク質によって精子

どり書くのは100個程度です。そのうち1個の精子が卵巣をタイミングよく飛び出た新鮮な卵と出会い、合えば、受精します。この受精した精子は1時間程度で卵管の先端にいる卵のところまでたどり着きます。時速1kmの速度です。

の二レステロールが除かれることが引き金になり、精子の内部ではさまたげ、また化学反応が起ります。が、外観上の形の変化はありません。

さは0.06ですが、脚はほぼ毎の1・1であり、精子の速にある実体から距の短を消かす酵素を出し、距の透明層を突き破って内側に侵入します。そして、精子は距に横付けし、

それだけの細胞膜が準備されています。すると精子内の遺伝子を食ひ内蔵物が引き込まれ、精子と卵の二つの細胞が二つの細胞（受精卵）となります。このようにして、受精卵は父からの遺伝子と母からの遺伝子を併せ持つこととなります。侵入

遺伝子引き込まれ受精卵に

した瞬間、師の腹裡には受胎膜というバリアが張られ、他の精子の侵入を防ぎます。

の分泌が盛んになり、男子の精巣では精子の元になる精母細胞が精巣の中で次々と細胞分裂を繰り返して、精子に成長するまで、約14日かかります。

力、暗に、女が更に母親の身に着いた時、病院の時に「別居」があると一生分の嫁がでます。そして、生まれたいと作動を重なる時、母は女々々作られませんが、母はせいぜい400個（月）で、15歳から50歳まで推測すると仮定せば、母は女々々作られ、公的資金を必要とする内分せせシタ。典・平島船長、松岡町代。

岐阜新聞 21.9.29

打ち上げ花火を眺める看護婦ら＝笠松町田代、
松波総合病院



松波総合病院 サブライズ花火75発

笠松町 元氣づける大輪

消防団で、サファイヤ水
火が打ちつけられ、大船が
夜逃げした。

「ロロ船の中、西蔵の入
陸船や海客船客を乗運
するため、燃料で出陣花火を
行っている。船市の基本構
造で、四国時代の経済聯合
機関が居住区にも集しん
でゐるのを確認した」。

木曾川川の至極なところ
公園から約10分、4時5分
3時5分と船が打ち上げ
られた。

同船の船主は、西蔵や西蔵
船主、西蔵から来た
船主の船主、上る花
火を見た。近隣の住民
も船主の船を助けて、助けて
いた。

（西蔵船主の）

コロナ患者に 郵便投票PR

宿泊療養施設や病院



郵便投票の制度を紹介する資料。治療に訪れた新型コロナウイルス患者に渡す。笠松町の松波総合病院

31日投開票の衆院選では、外出自粛を求められている新型コロナウイルス感染者が郵便で投票できる。6月に成立した特例法で新たに設けられた制度だ。患

者を受け入れる宿泊療養施設や病院がPRしている。

郵便投票はまず、選挙人名簿登録地の選挙管理委員会へ本人の署名入りの請求書を送る。今回の衆院選では、請求書は選管に27日必着となる。選管から患者に投票用紙が送られ、それに記入して返送する。入院患者の場合は、これとは別に病院で投票できる仕組みもある。

県内の宿泊療養施設では11日から、館内放送でも郵便投票の周知を始めた。資料は患者が入所する時に渡している。

入所者が抗体カクテル療法を受ける松波総合病院（笠松町）でも、14日から治療を受ける個室の壁に「衆院選の郵便投票が可能だ」という貼り紙を掲げた。患者は治療のため、この個室で1時間半ほど過ごすという。「負担にならないように制度をお知らせできれば」と担当者は話す。

朝日新聞 21.10.19

塩野義製薬のコロナ飲み薬

松波病院で治験開始

塩野義製薬（大阪市）が開発を進めている新型コロナウイルス治療薬（飲み薬）の臨床試験（治験）を、県内の医療施設として初めて松波総合病院（羽島郡笠松町）が27日から始めた。

塩野義によくと、治療薬は軽症者向けでウイルスの増殖を抑制し、重症化を防ぐ効果がある。治験の対象者は軽症、無症状の新規陽性者で20歳以上70歳未満。錠剤で1日1回、5日間服用する。7月から

少数を対象にした治験を始め、9月からは最終段階として、全国各地の宿泊療養施設や病院などで行っている。県は、宿泊療養施設へ入る予定の治験の対象者に希望を聞き、治験を望む対象者は松波総合病院へ入院する。同病院の村山正憲副院長は「良い治験結果が出て、コロナの内服薬が承認されれば、社会的に大変喜ばしいこと。治験に協力していただける方がいれば感謝したい」と話した。

岐阜新聞 21.10.28

飲み薬の治験 県内でも

笠松・松波総合病院 少なくとも4人分

新型コロナ

笠松町田代の松波総合病院は二十七日、「塩野義製薬」（大阪市）が開発を進めている新型コロナウイルス患者向け飲み薬の県内初の治験を始めること発表した。

同社によると、飲み薬は年内に国に承認申請し、来年三月までに百万人分の生産を目指す。治験は九月二十七日から全国の医療機関などで実施。約三千人分のデータを集めるまで行う。

松波総合病院では、少なくとも四人分の治験を担当する。対象になるのは十二〜六十九歳で、陽性になった無症状者や軽症者、酸素吸入が必要ない中等症の患者。今後、保健所が治験を陽性者に紹介し、同意が得られた人には入院してもらい治験を行う。期間中は熱や酸素濃度を測り、体調の異変や症状の回復具合などを記録する。

村山正憲副院長（右）は

「飲み薬ができて在宅治療できるようになれば、医療機関などの負担が減る。国産メーカーによる開発に少しでも役立てたらうれしい」と話した。

（長屋文太）

中日新聞 21.10.28

本社最高顧問の杉山氏

松波病院名誉院長の松波氏

笠松名誉町民に



松波高一氏



杉山幹夫氏

笠松町は7日、岐阜新聞社最高顧問の杉山幹夫氏（91）と、松波総合病院名誉院長の松波高一氏（91）を名誉町民に選定した。同日開会した町議会定例会の本会議で選定同意案が可決された。同町の名誉町民は4人とな

った。杉山氏は笠松町出身、1971年に岐阜日日新聞社（現岐阜新聞社）、岐阜放送の社長に就任。新聞、テレビ、ラジオを通じて笠松町など地域の情報発信に貢献した。2009年には生家である笠松有形文化財の杉山邸を町へ寄贈。地元NPO法人が歴史、文化を誇る町の魅力を発信する拠点として活用している。杉山氏は「新聞、放送の世界で少しでも古風のお役に立てたらと、いつも願っていました。生家も町民の皆さまに支えられ、活用されてうれしい。これからも

地域密着一筋で進んでいきたい」と語った。

松波氏は1988年に同病院の院長に就任し、2001年から現職。県の救急、高度先進医療の推進に尽力した。長年にわたり羽島郡医師会会長を務め、医療や介護、保健衛生など町の福祉の礎を築き、町民が安心して暮らせる町づくりに貢献。新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保にも力を注いだ。

松波氏は「光栄に思うとともに身の引き締まる思い。地域に愛着心があり、地域の皆さまから感謝される例証経営に努めてきた。最良の医療が受けられるよう献身的に努力を重ねていきたい」とコメントした。（長尾剛次）

岐阜新聞 21.12.8

塩野義、飲み薬開発に壁

コロナ感染減 治験対象少なく

塩野義製薬が開発を急ぐ新型コロナウイルスの飲み薬に思わぬ壁が立ち、国内の新型コロナウイルス感染者が急減し、最終段階の臨床試験（治験）

コロナ飲み薬の開発が進む	
企業	開発段階
米メルク	英国で承認済み。国内で3日に承認申請
米ファイザー	米国で緊急使用許可を申請
塩野義製薬	最終段階の治験中

の対症者集めに苦勞している。2000人以上を対象とする計画だが、協力する病院の中には対象者のべ2人にとどまる例もある。

「いまは誰もいませんよ」。11月下旬、取材に訪れた松波総合病院（岐阜県笠松町）で担当者は語った。対象者を受け入れるはずの区画には空のベッドが並んでいた。村山正憲副院長は「うちだけで20、30人ほどのデータをとれると思っていた」と説明する。10月末に治験を始めてから受け入れたのはわずか2人という。

塩野義も治験の対象者が「当初の想定を下回っている」と認める。年内の承認申請を目指しており、対象者集めに必死だ。宿泊療養施設や患者の自宅に看護師を派遣し、治療ができるようにした。複数の自治体が保健所を通じて感染者に塩野義の治療を案内するなど、異例の支援も得る。

それでも年内に国内だけで十分なデータを集めるのは難しい。韓国やシンガポール、ベトナムなどでも最終治験を始め、安全性の確保を前提に中間解析データに基づいた申請も検討する。12月3日、米メルクの日本法人が飲み薬を国内で承認申請した。英当局が11月に世界で初めて承認した薬だ。ワクチンに限らず、治療薬でも海外企業が先行する。

「政府に戦略的な備蓄を求めている」と認める。塩野義は2020年3月期に国内で160億円を売り上げたが、21年3月期は前の期比約4割減の88億円だった。見通しの立てにくさが、事業の運営を難しくする。手代木氏は「一時的な買上げだけでは不十分と

日本経済新聞 21.12.14

教えて ずんだろー

新型コロナウイルスの感染の波が押し寄せ、以前から生活リズムが崩れてしまっている方が多いと聞きます。長期化する感染のついでに、健康状態の悪化が心配です。

新型コロナウイルスの感染の波が押し寄せ、以前から生活リズムが崩れてしまっている方が多いと聞きます。長期化する感染のついでに、健康状態の悪化が心配です。

遺伝子変異

遺伝子変異とは、DNAの塩基配列が変化する現象です。変異は、複製の過程で起こるエラーや、環境要因によって引き起こされます。変異は、生物の進化や病気の原因となります。

新型コロナウイルスの遺伝子変異は、感染の拡大や治療法の開発に影響を与えています。変異の検出と解析は、感染症対策に不可欠です。

文字配列が変わり発生

文字配列が変わり発生とは、DNAの塩基配列が変化する現象です。変異は、複製の過程で起こるエラーや、環境要因によって引き起こされます。変異は、生物の進化や病気の原因となります。

新型コロナウイルスの遺伝子変異は、感染の拡大や治療法の開発に影響を与えています。変異の検出と解析は、感染症対策に不可欠です。

岐阜新聞 21.12.22

コロナ対策を第一に迅速対応

松波総合病院は、新型コロナウイルス感染症の拡大に迅速に対応するため、院内の感染対策を強化しています。また、患者の安全を確保するため、検温や消毒などの対策を実施しています。

松波総合病院は、新型コロナウイルス感染症の拡大に迅速に対応するため、院内の感染対策を強化しています。また、患者の安全を確保するため、検温や消毒などの対策を実施しています。



院長 松波 和寿氏

松波総合病院は、新型コロナウイルス感染症の拡大に迅速に対応するため、院内の感染対策を強化しています。また、患者の安全を確保するため、検温や消毒などの対策を実施しています。

松波総合病院は、新型コロナウイルス感染症の拡大に迅速に対応するため、院内の感染対策を強化しています。また、患者の安全を確保するため、検温や消毒などの対策を実施しています。

岐阜新聞 22.1.1

最新がん治療機器 県内で初めて導入

笠松・松波総合病院

松波総合病院（笠松町田代）は、熱でがん細胞を死滅させる最新のがん治療機器「アスクーフ8」を写真Ⅱを県内で初めて導入した。温熱療法は体への負担が軽く、抗がん剤や放射線治療などとも併用でき、より高い治療効果を期待できるという。

同院によると、人間の細胞は通常、熱を当てると血流を増やして放熱できるが、がん細胞は熱を逃すことができず死滅する。アスクーフ8はベッドに寝た状態の患者へ、患部を狙って高周波電流を流し、がん細胞を四二・五度まで加熱して治療する。

従来の温熱治療機器よりも体内の深部まで熱を通すことができ、従来の温熱療



法では処置が難しかった肺臓がんなどにも対応できる。ただし、熱に弱い眼球と脳には使用できない。

治療時間は四十一・五十分程度で、回数制限はあるが、健康保険が適用される。メーカー側は「患者の予期せぬ動作で体表に軽い熱傷が起こりうる場合がある」としている。

同院がん治療センターの原武志センター長は「従来の治療法に取って代わるわけではないが、患者の負担が少なく、生活の質を落とすことなく治療できる。抗がん剤や放射線治療が難しかった人も治療可能だ」と話している。（高野正憲）

中日新聞 22.2.9

がん治療 最新の温熱療法導入 松波病院、副作用少なく

松波総合病院（羽島郡笠松町）は、高周波によって腫瘍に熱を加えて治療するがん温熱療法機器「アスクーフ8」を1月に導入し、患者の治療を行っている。

医療機器など製造販売の「庄内クリエイト工業」（山形県）が開発した最新の温熱療法機器で、同病院によると岐阜県内では初の導入。

がんの部位を狙って高周波を当て、加温することによって、42・5度以上の熱に弱いがん組織を壊死させる。目と脳以外の部位に適用でき、副作用が少ないという。治療時間は1回当たり40〜60分。

同病院がん治療センターの原武志センター長は「副作用が少なく、化学療法や放射線療法を併用すること

で、より高い治療効果が期待できる」と話した。

（長尾剛次）



導入したがん温熱療法機器Ⅱ羽島郡笠松町、松波総合病院

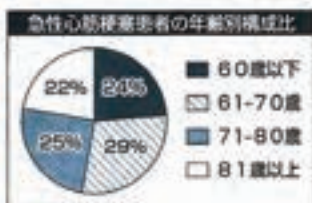
岐阜新聞 22.2.10

「コロナ禍」による病院逼迫のために、部門で急性心筋梗塞の80代の女性が増え、10カ所以上の病院に断られ、死亡したとの新聞報道を見ました。近年は、80歳以上の高齢者だけでなく平均年齢50歳前後の若年者の心筋梗塞も珍しくありません。グラフ上、さらに、女性の心筋梗塞患者の割合は、高齢でなくても男性より深刻で重症化しやすい、死亡率も高いことを感じます。

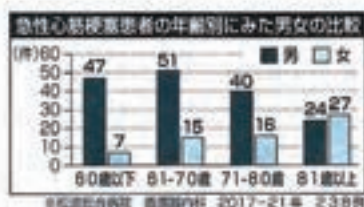


循環器内科医 上野勝己氏

女性の心筋梗塞



くろみなどであるため、発症から病院に受診するまでの時間が男性よりも有意に長く、また受診しても診断・治療が遅れやすいのです。



寿命延び患者増、重症化

以前は、男性心筋梗塞患者が女性の3〜5倍あり、特別な基礎疾患がない限り女性は心筋梗塞とは縁遠いものといった印象がありました。これは女性ホルモンであるエストロゲンの、動脈硬化を助く作用のためと考えられています。女性は閉経後にはエストロゲンの作用が失われることや総コレステロール値が上昇していることが多いの

非典型的な症状、治療遅れやすく

（70歳未満、平均56歳）を平均7年間観察した研究では、やはり心筋梗塞発症率は男性に多く（1万人当たり男性24・4人、女性7・8人、男女比は3・1対1でした。ただ、この研究は危険因子の影響（血圧、脂質、糖尿病、肥満など）が男女で異なるかを調べていますが、すべての危険因子が男性よりも女性に対して強く影響していました。この報告では運動不足や現代的な食生活によって生活習慣病が増加していく中で、これらの危険因子（特に糖尿病、脂質異常、高血圧）にさらされた女性の心筋梗塞患者がさらに増えていくと警告しています。

女性の心筋梗塞は非典型的な症状のため発見が遅れ重症化しやすいと心の注意が必要です。女性は心筋梗塞になりにくいという時代は過ぎ去ったといえます。

（松波総合病院心臓血管センター長、羽島聡彦松野田代）

岐阜新聞 22.2.24

がん温熱療法の医療機器を導入
県内初 笠松の総合病院
笠松町の松波総合病院が、高周波の電波で患部を加温し、がん細胞を縮小・壊死させる医療機器を導入した。県内では初導入という。健康保険は適用される。患部を42・5度に温めて、熱ががん細胞だけにダメージを与える。1回の治療時間は40〜50分。眼罩と顔以外の患部に使用できる。放射線や抗がん剤などの治療法と併用することで、治療効果を高めることができるという。



松波総合病院が導入した「がん温熱療法機器」

朝日新聞 22.2.28



2013年代女性の半数ががんの中で、2位を占めるのが子宮頸がんです。子宮頸がんはその他のがん異なり、原因が解明されています。ヒトパピローマウイルス（HPV）といふウイルスが子宮頸部に感染するのです。従って、HPVの感染を防ぐことは、子宮頸がんの発症を抑えることができます。

このHPVの感染を防ぐためにはワクチン接種することが最も有効です。日本では2013年4月にHPVワクチンが定期接種（予防接種法に基づいて地方自治体が公費で接種）となりました。しかし、接種後日常生活に多大な影響を及ぼす副反応が繰り返し報告され、国は同年6月に接種の機動的な調整を指示しました。

子宮頸がん



産婦人科医

今井篤志氏

それに伴い接種率は激減し、子宮頸がんの患者数・死に数ともに増え続けています。日本では現在年間約1万人が子宮頸がんを発症し、3千人が死んでいます。

国は日本と海外のHPVワクチンの副反応を過剰・分析し、大きな問題は無いことが分かっています。また、海外の論文で、17歳になる前に接種を受けた女性には、受けなかった場合と比べて子宮頸がんの発症率が半分以下、17歳以降で接種を受けた女性でも、53%減少しました。このように接種による有効性が科学的にスクを上げることが期待されています。

ワクチン勧奨来月再開

HPVワクチン接種

対象者	期間
12～16歳女子 (小学6年生～高校1年生)	随時
定期接種	
再開に伴う追加接種	1997年度～2005年度生まれ 2022年4月～3年間

●投与スケジュール



子宮頸部の細胞にHPVが感染すると子宮頸がんの発症率が高まります。子宮頸がんの発症率は、接種開始以降、99%以上はウイルスが自然に体内から排除される正常化します。

表1
HPVは60種類以上の型がありますが、そのうち16型と18型が、8種類が子宮頸がんの原因となります。性交渉によって感染し、女性の約90%が生に一度は感染するほど広くあり、女性ウイルスです。そのため、性交渉のある男女の半数以上は感染し、性行動のある女性の半数以上は感染する可能性があります。子宮頸がんは子宮頸部の細胞にHPVが感染すると発症するがんです。子宮頸がんの発症率は、接種開始以降、99%以上はウイルスが自然に体内から排除される正常化します。

機会逃した世代に公費接種

す。数年前ウイルスが子宮頸部に感染するとがん化しますが、その確率はウイルス感染の0.110～2%です。

予防するためには性交渉を避ける前に接種するのが最も効果的です。日本の定期接種は小学6年生から高校1年生までが対象です。HPVワクチンは希望すれば高校でも打つことができ、45歳までは子宮頸がんやその前の異型化になるのを予防する効果が認められています。自費の場合の費用は、1回当たり約1万円、2回で約2万円、3回接種します。

HPVワクチンは不活化ワクチンなので、コロナワクチン以外のワクチンとは同時接種ができ、接種期間の制限はありません。現在のHPVワクチンは子宮頸がんの原因となるHPVの全ての感染を予防するわけではありませんが、子宮頸がんの検診も併せて行いましょう。

（松陵総合病院産婦人科分科センター長・羽鳥登志松野田代）

岐阜新聞 22.3.16

ヘリで搬送、連携確認

羽島消防や松陵総合病院 水難救助、合同訓練

要救助者を救助する訓練として、松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。訓練は、松陵総合病院の救急科と羽島消防の救急隊が参加し、水難救助の訓練を行いました。訓練は、松陵総合病院の救急科と羽島消防の救急隊が参加し、水難救助の訓練を行いました。



ヘリコプターからの搬送は、水難救助の訓練の一環として行われました。松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

木曽川の増水により、川八十八山地区は、防災への中州に要救助者が多く、水難救助の訓練を行いました。訓練は、松陵総合病院の救急科と羽島消防の救急隊が参加し、水難救助の訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

要救助者ヘリで搬送、連携確認

松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。



ヘリコプターからの搬送は、水難救助の訓練の一環として行われました。松陵総合病院と羽島消防が合同訓練を行いました。

中日新聞 22.3.24

岐阜新聞 22.3.29